

LH5P II

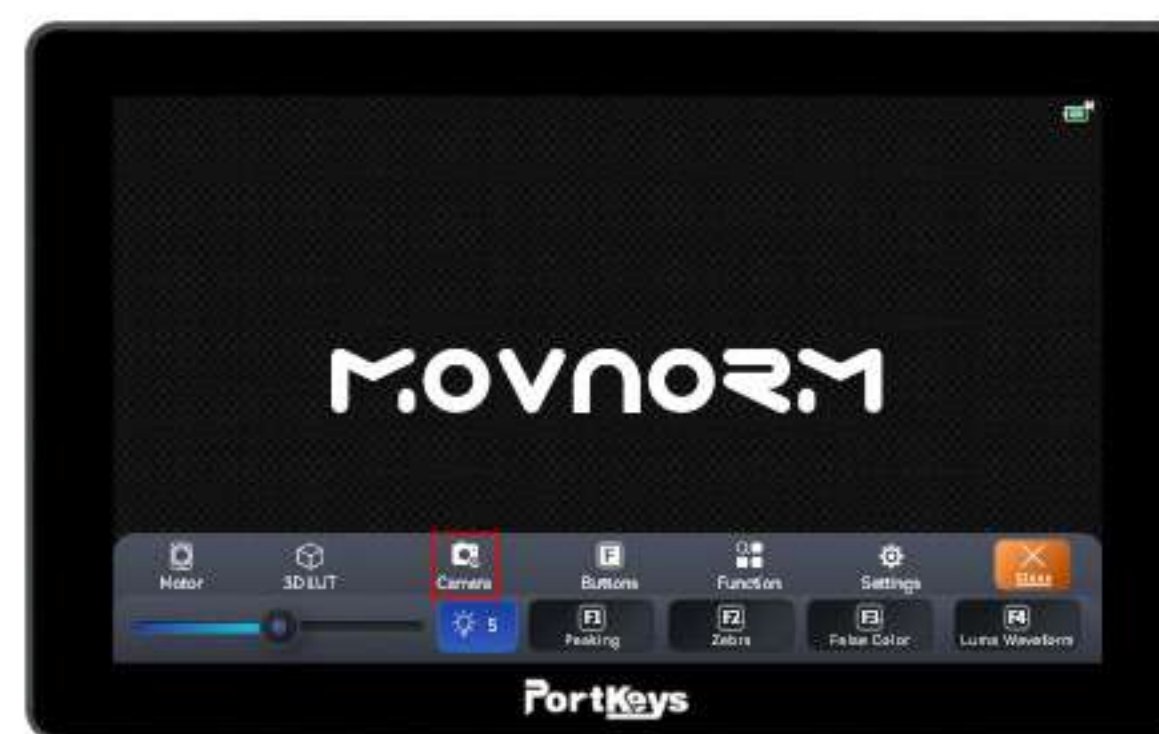
操作説明書

UI操作の紹介



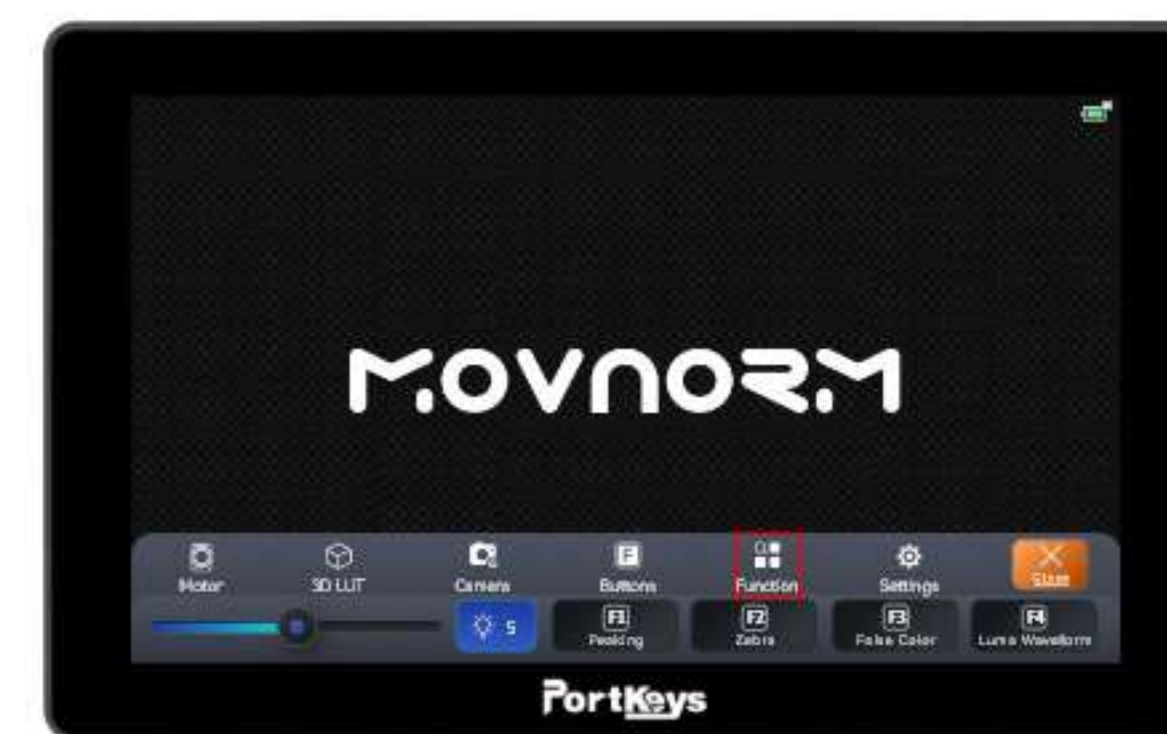
1、モーター

モニターを通じてカメラレンズを調整します。



3、カメラ

カメラはWi-FiまたはBluetoothで接続および操作できます。



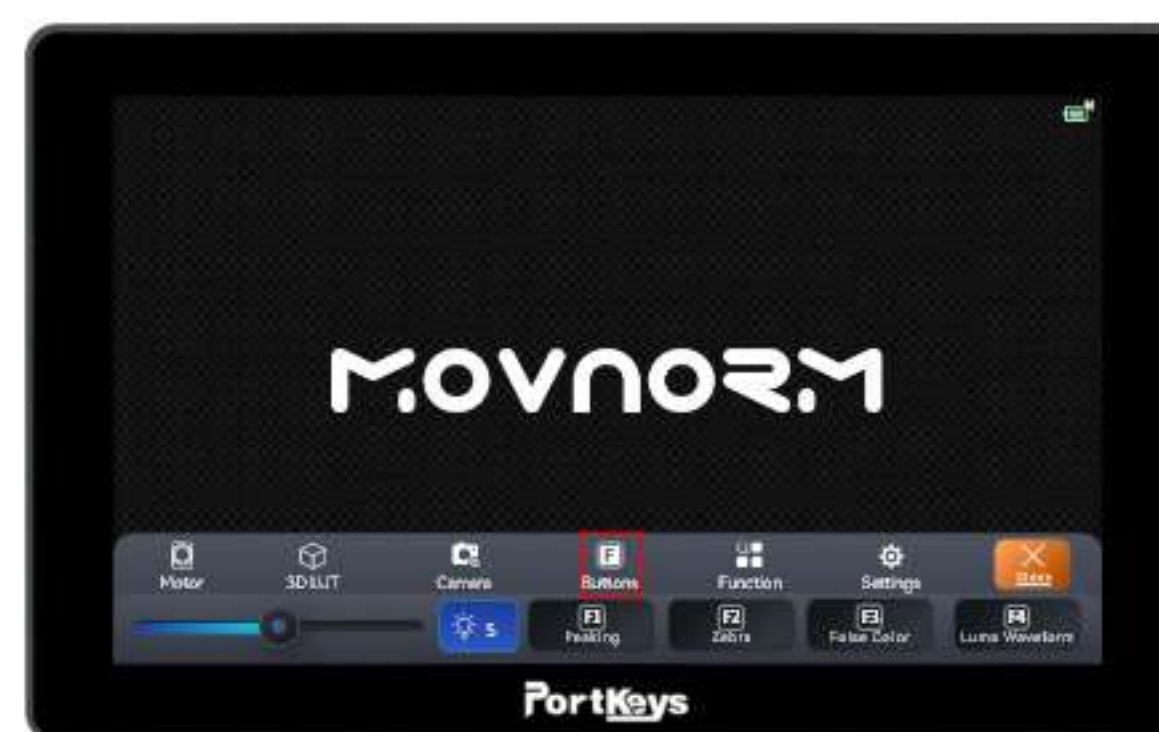
5、機能

詳細は「機能紹介」をご参照ください。



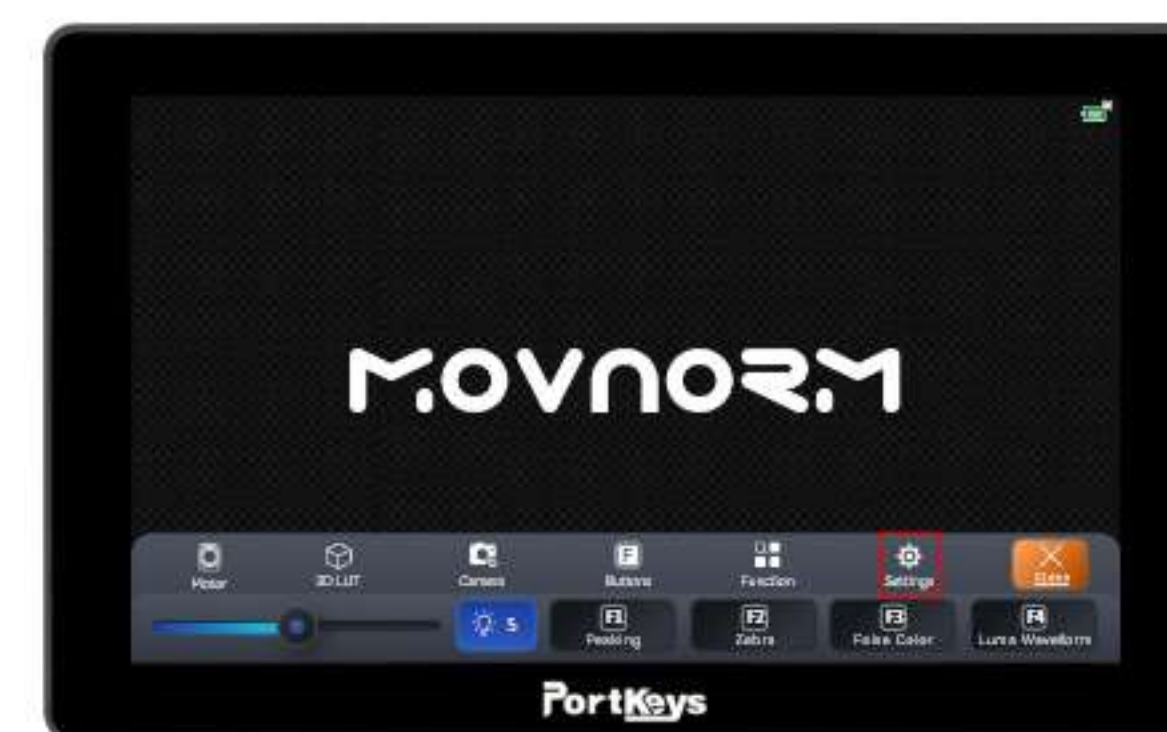
2、3D LUT

作成したLUTファイルを保存するために使用され、画面に直接適用できます。



4、ボタン

よく使う機能はショートカットキーに設定でき、ワンタッチで起動できます。



6、設定

詳細は「設定紹介」をご参照ください。

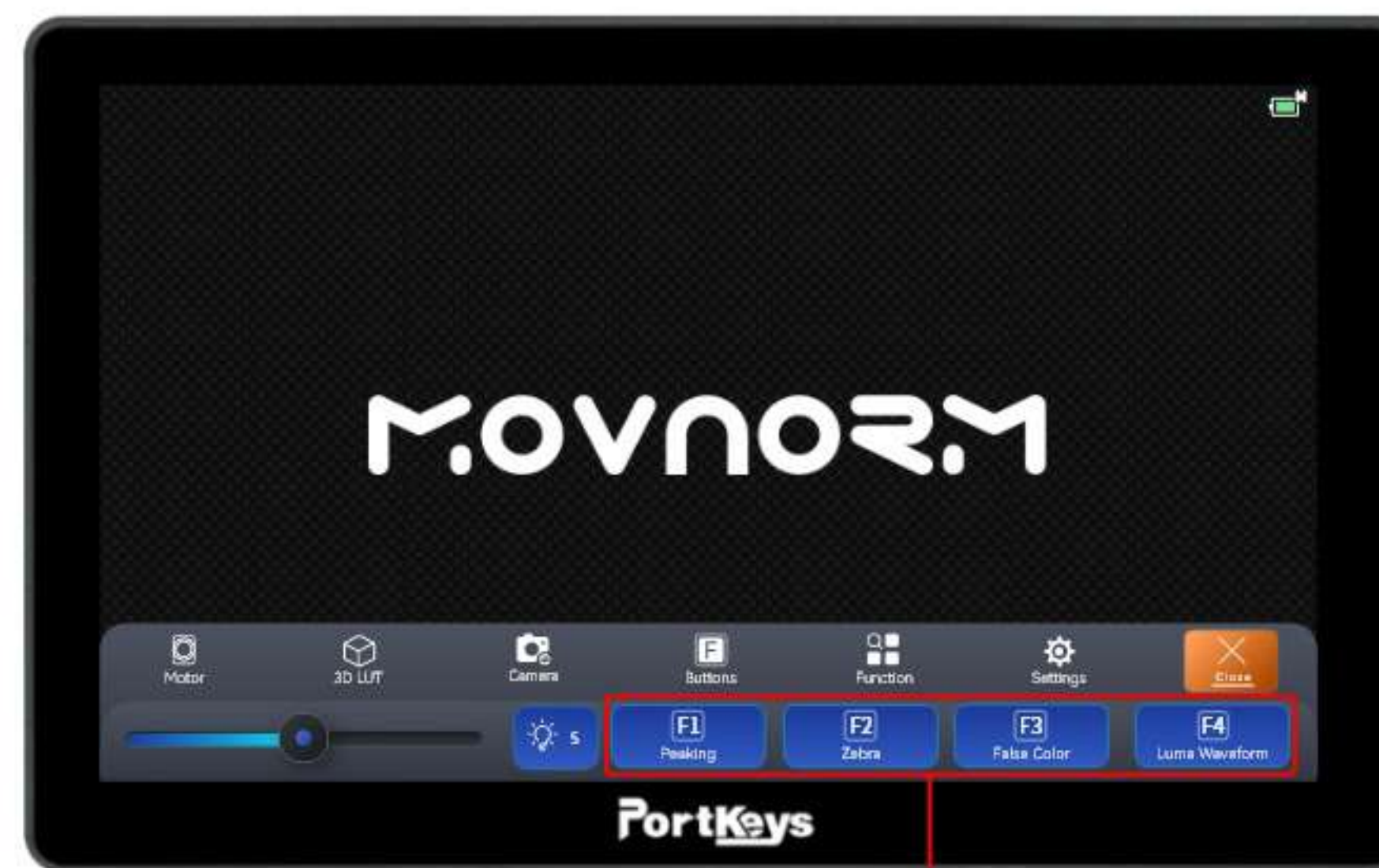
ショートカットキーの紹介



置き換えたいショートカットをクリックしてください。

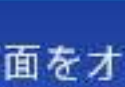
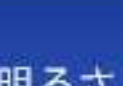
次に、置き換えたいショートカットをクリックして完了してください。

スライドでページ切り替え



完成したショートカットをプリセット

以下の機能はすべてクイックアクセス機能として設定可能です。

 ピーキング	 音量	 フォルスカラー	 輝度波形	 RGB波形	 オーディオメーター
 輝度ヒストグラム	 矩形クロップ	 画像キャプチャ	 画像オーバーレイ	 HDR(HLG)	 チェックフィールド
 ガイドライン	 クロスヘア	 グリッド	 3D LUT	 カメラ録画	 画面をオフにする
 バックライト	 明るさ	 コントラスト	 色度	 シャープネス	 色合い
 音量	 FPS	 アイリス	 シャッター	 ズーム	 ISO

機能紹介

3.1 フォーカスアシスト機能



フォーカスアシストの紹介

これは、撮影中に写真家がより正確にピントを判断できるよう支援する技術です。原理としては、画像処理を用いて高コントラストの部分（通常はシャープな部分）を特定の色や輪郭線で強調し、どの部分がピントが合っているか、どの部分がぼやけているかを素早く識別できるようにします。

フォーカスアシストの有効化



クリックしてフォーカスアシストを有効にします
ピントが合っている領域が画像上で色付きで表示されます。

フォーカスアシスト機能 - 元の画像



クリックして元の画像を有効にします

元の画像では表示スタイルを切り替えることができ、オリジナル、白黒、グレースケール（低）、グレースケール（中）、グレースケール（高）、黒の6種類があります。

元の画像 - スタイル効果



オリジナル画像



白黒



グレースケール（Low）



グレースケール（Middle）



グレースケール（High）



黒

フォーカスアシスト - 感度



クリックして感度を有効にします

感度スライダーをドラッグして感度レベルを1~15の範囲で調整します。感度が高いほど、フォーカス検出範囲が広がり、低いほど狭くなります。



低感度値



高感度値

フォーカスアシスト - 色



クリックして色を変更します

必要に応じてフォーカスの色を選択できます（白、赤、緑、青）

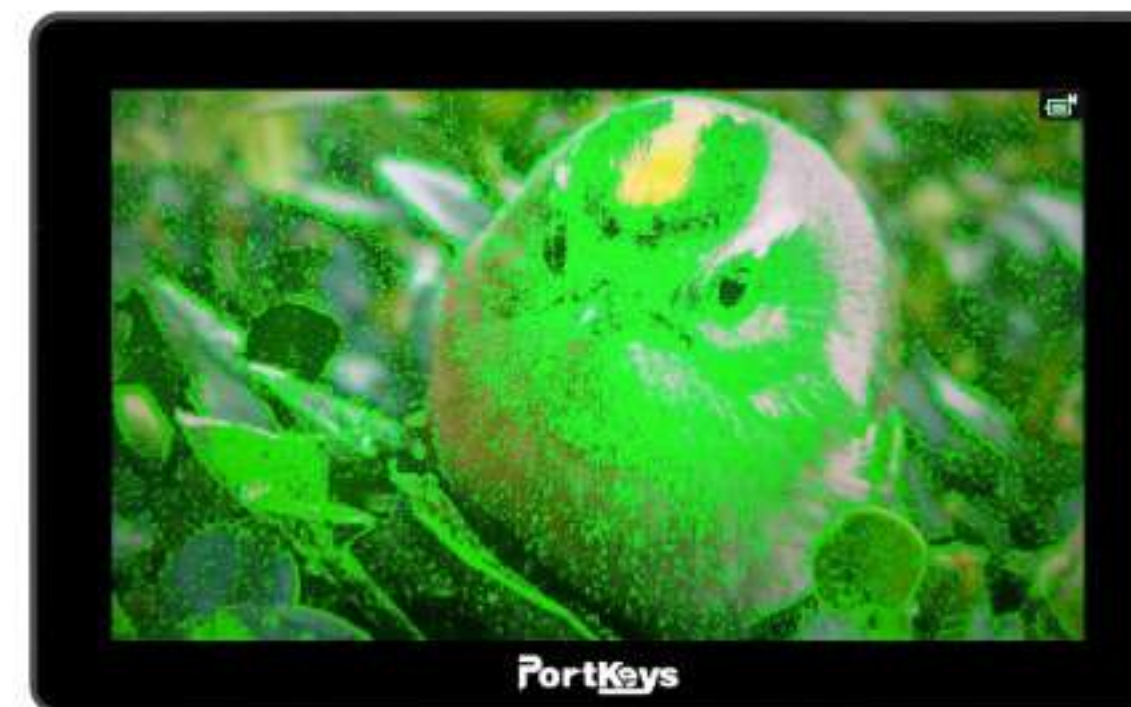
フォーカスカラーのスタイル



白



赤



緑



青

フォーカスアシスト - ピークフレーム



ピークフレームを有効にする前



ピークフレームを有効にした後

- 1.ピークフレームには、水平開始位置、垂直開始位置、幅、高さ、リセット、戻るなどの項目があります。
- 2.ピークフレームを有効にすると、フォーカス表示はその範囲内のみに限定されます。
- 3.ピークフレームをクリックすると次の画面に入り、ピークフレームのサイズと位置を調整したり、設定をリセットしたりすることができます。

0%

X開始: 画面をタッチしてピークボックスを水平方向に移動させます

0%

Y開始: 画面上でドラッグしてピークフレームを垂直方向に移動させます

100%

幅: 幅の値を増やすとピークフレームの横幅が広がります

100%

高さ: 高さの値を増やすとピークフレームの縦幅が広がります

リセット

リセット: フォーカスアシストのすべての値を初期設定に戻します

戻る

戻る: 戻るボタンをクリックして前のページに戻ります

3.2ゼブラ



ゼブラの紹介

露出オーバーのエリアや特定の輝度範囲にストライプを表示し、撮影者がリアルタイムで露出設定を判断・調整して画像のディテールを保持するのに役立ちます。

ゼブラ - ゾーンオプション



クリックしてゾーンオプションを有効にします

ゼブラゾーンオプションにはローゾーン、ミドルゾーン、ハイゾーンがあります

ゼブラ - 有効化



ローゾーン、ミドルゾーン、ハイゾーンの表示を制御します。各ゾーンを個別に切り替えるか、3つすべてを同時に有効にできます



ロー



ミドル



ハイ

ゼブラ - IRE



ゼブラストライプの表示範囲は、ミドルゾーンにおいて $\pm 0 \sim 30$ のIRE値で調整可能です



低IRE効果の参考



高IRE効果の参考

3.3 フォールスカラー



フォールスカラーの紹介

フォールスカラー機能は、画像内の異なる輝度レベルをさまざまな色でマッピングします。

False Color - User Style



Users can freely adjust the exposure distribution peaks for highlighted areas (overexposed settings) and shadow areas (underexposed settings).

フォールスカラー - ARRI



このフォールスカラーモードはARRIカメラ用に設計されており、他の機能と高い統合性を持ち、プロフェッショナルなワークフローを実現します

フォールスカラー - 情報表示



画像内のフォールスカラー情報は数値として表示できます



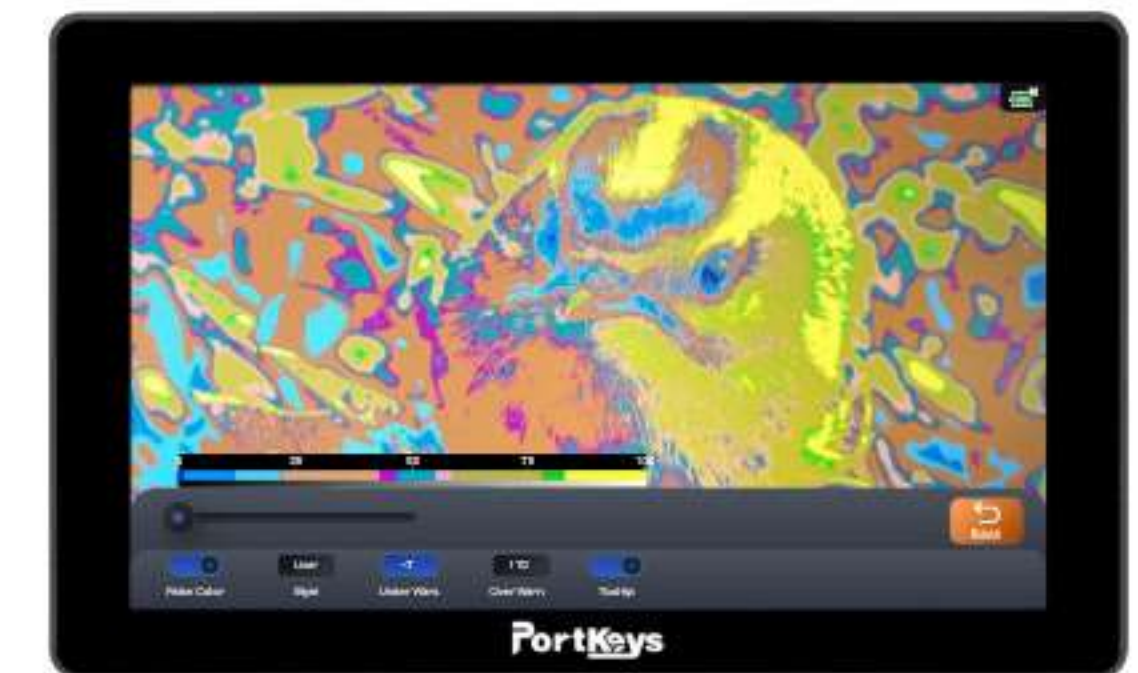
露出オーバー効果比較



露出オーバー効果比較



露出アンダー効果比較



露出アンダー効果比較

3.4 ルーマヒストグラム



ルーマヒストグラムの紹介

画像内の輝度分布をグラフィカルな波形で表示し、ユーザーが露出レベルやコントラストを分析するのに役立ちます。横軸は画像内の水平方向の位置を、縦軸は輝度値を示します。

ルーマヒストグラム-透過率



ルーマヒストグラムの透過率はオフ、25%、50%、75%の4つの選択肢があり、対応する値を選択して波形の透過度を調整します。

ルーマヒストグラム-輝度



輝度ボタンをクリックして次の画面に入り、左右にスワイプして波形の輝度を調整します。



低輝度



高輝度



透過オフ



透過 25%



透過 50%



透過 75%

ルーマヒストグラム-過剰色



ルーマヒストグラムの露出オーバーおよび露出アンダーのエリアはカスタマイズして赤で表示できます。

ルーマヒストグラム-ズーム



ズームボタンをクリックして輝度波形を拡大または縮小します。

ローエリアスライダーを左右にスライドして下限外ピークを調整します（範囲：-7～109）



露出不足エリア効果比較



露出不足エリア効果比較

ハイエリアスライダーを左右にスライドして上限外ピークを調整します（範囲：-7～109）



露出不足エリア効果比較



露出不足エリア効果比較



ズーム後

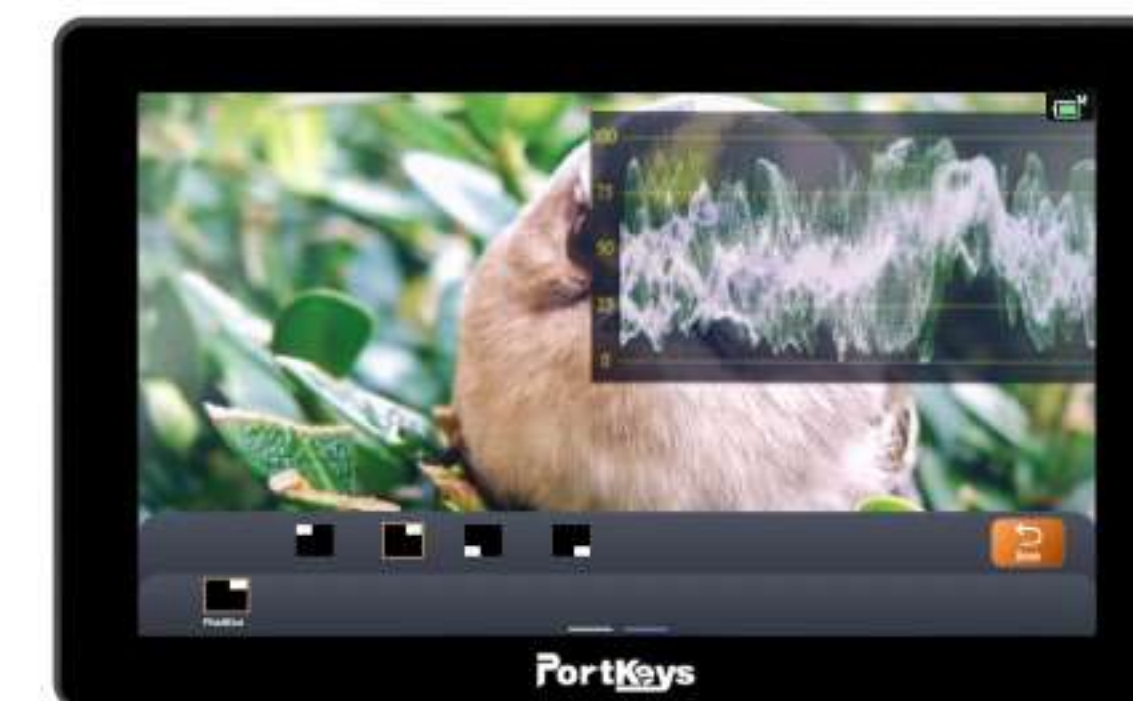
ルーマ波形-位置

1.輝度波形は左上、右上、左下、右下のいずれかの位置に配置できます。

2.位置ボタンをクリックして輝度波形の表示位置を選択します。



左上



右上



左下



右下

3.5 RGB波形



RGB波形の紹介

画像内の赤、緑、青のチャンネルを個別の波形として表示します。これらの波形はそれぞれの色チャンネルの輝度分布を示し、各チャンネルの露出とコントラストを確認および調整できます。

RGB波形-透過率



輝度波形の透過率はオフ、25%、50%、75%の4つの数値オプションがあり、透過率ボタンをクリックして対応する値を選択して波形の透過度を調整します。

RGB波形-輝度



輝度ボタンをクリックして次の画面に入り、左右にスワイプして波形の輝度を1～6の範囲で調整します。



低輝度



高輝度



透過オフ



透過 25%



透過 50%



透過 75%

RGB波形-過剰色



輝度波形の露出オーバーおよび露出アンダーのエリアはカスタマイズして赤で表示できます。

RGB波形-ズーム



ズーム前

ズームボタンをクリックして輝度波形を拡大または縮小します。

ローエリアスライダーを左右にスライドして下限外ピークを調整します（範囲：-7～109）



露出不足エリア効果比較



露出不足エリア効果比較

ハイエリアスライダーを左右にスライドして上限外ピークを調整します（範囲：-7～109）



露出不足エリア効果比較



露出不足エリア効果比較

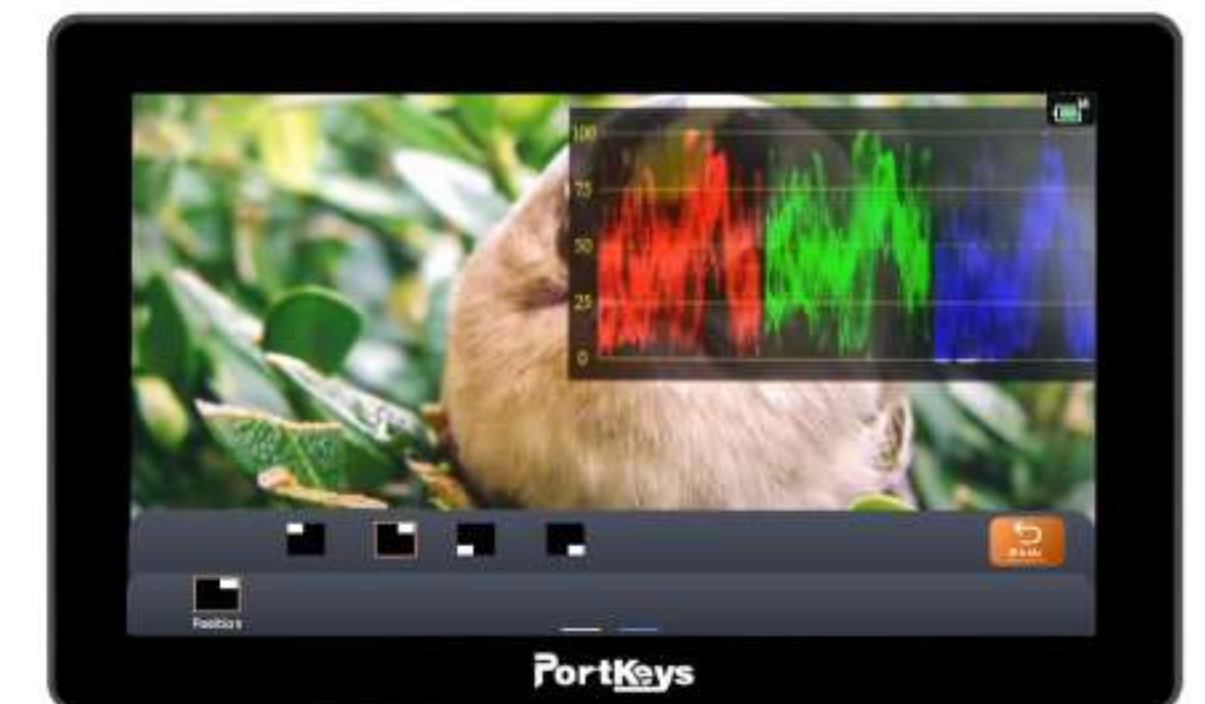
RGB波形-位置

1.RGB波形は左上、右上、左下、右下のいずれかの位置に配置できます。

2.位置ボタンをクリックしてRGB波形の表示位置を選択します。



左上



右上



左下



右下

3.6オーディオメーター



音量インジケータの紹介

入力音声の音量をリアルタイムでモニタリングします

オーディオメーター-半透明

半透明ボタンをクリックすると、画面上に音声が表示されます



半透明オフ



チャンネル切り替え: チャンネルボタンをクリックして左右の再生を選択します



半透明オン

3.7 ルーマヒストグラム



輝度ヒストグラムの紹介

画像の輝度が画面上部にヒストグラムとして表示されます

ルーマヒストグラム-透過表示



透過ボタンをクリックすると、輝度ヒストグラムが透過表示されます



透過なし



透過あり

ルーマヒストグラム-ズーム



ズームボタンをクリックして輝度ヒストグラムを拡大縮小します



ズーム後

ルーマヒストグラム-位置



ルーマヒストグラムは左上、右上、左下、右下のいずれかに配置できます

位置ボタンをクリックしてルーマヒストグラムの表示位置を選択します



左上



右上



左下



右下

3.8矩形クロップ



矩形クロップ



有効化前



有効化後

クロップを有効にした後、サイズパラメータを調整して画像をトリミングします

矩形クロップの紹介

クロップを有効にした後、サイズパラメータを調整して画像をトリミングします

0% X開始: クロップフレームを左右に移動し、値を増加させて画面上でドラッグします

0% Y開始: クロップフレームを上下に移動し、値を増加させて画面上でドラッグします

100% 幅: 幅の値を増やしてクロップフレームを拡張します

100% 高さ: 高さの値を増やしてクロップフレームの高さを拡大します

リセット: すべてのクロップ値を初期設定に戻します

戻る: 戻るボタンをクリックして前のページに戻ります

矩形クロップ-リサイズ



3.9画像キャプチャ



画像キャプチャの紹介

任意のフレームをキャプチャしてUSBドライブに保存できます

ステップ3: 画像キャプチャを待機します

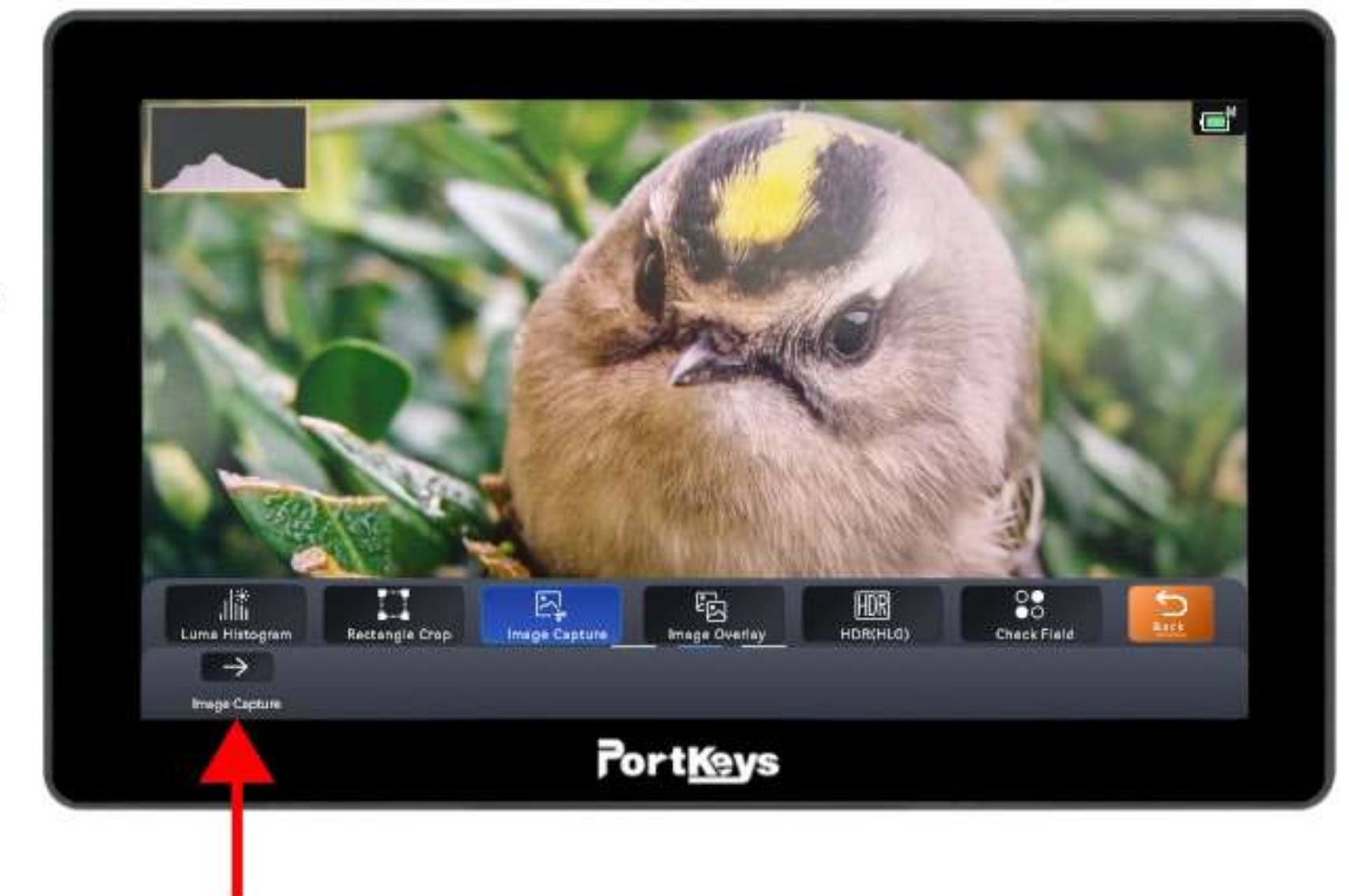


しじ

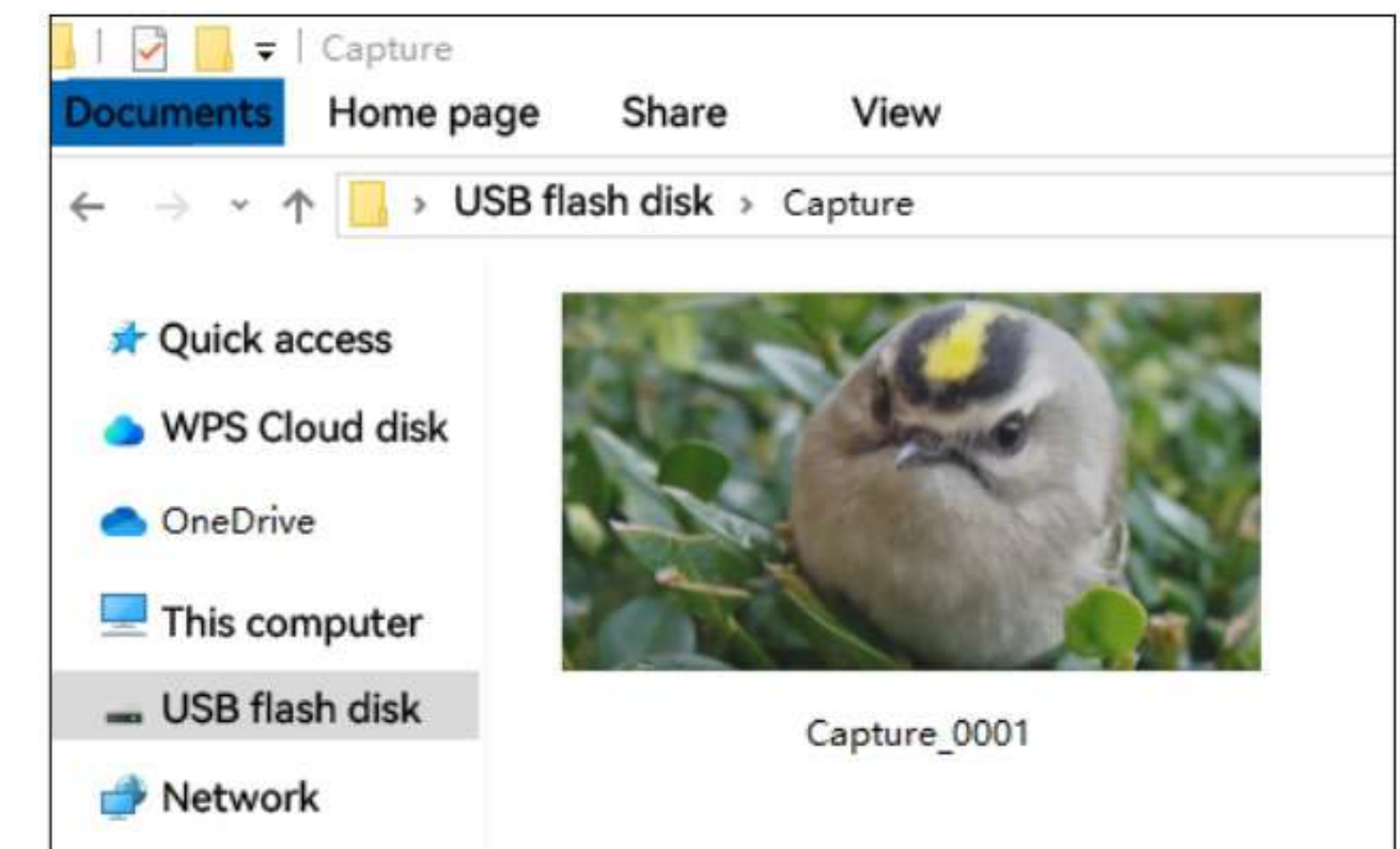
ステップ1: USBドライブをモニターのUSB-Aポートに挿入します



ステップ2: 「画像キャプチャ」をクリックします



ステップ4: 画像キャプチャ完了



3.10 画像オーバーレイ



画像オーバーレイの紹介

キャプチャした画像を使用して、USBドライブ経由でリアルタイム映像と半透明で比較表示ができます

しじ

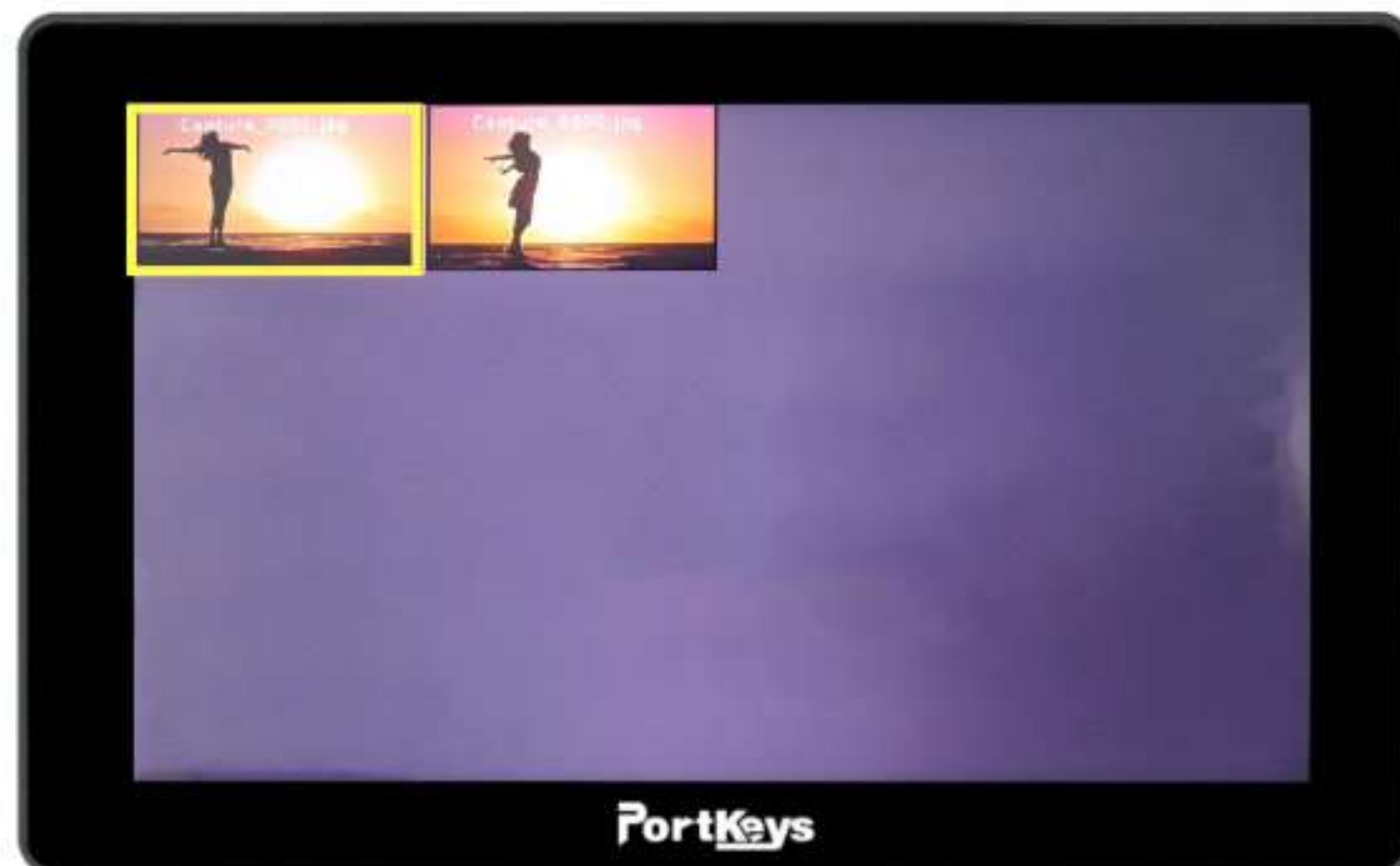
ステップ1: USBドライブをモニターのUSB-Aポートに挿入します



ステップ2: 「画像オーバーレイ」をクリックします



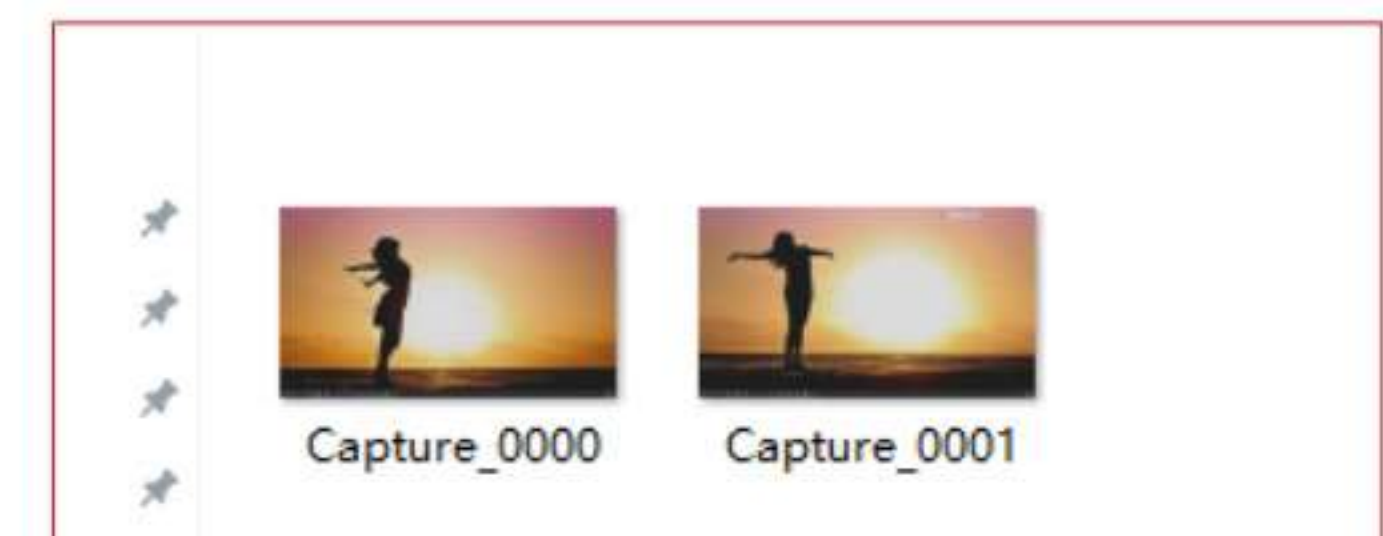
ステップ3: 画像オーバーレイを待機します



ステップ4: 画像オーバーレイ完了



ヒント: ユーザーは自分の画像をUSBドライブに保存してオーバーレイ表示が可能です。画像要件: 16:9、1920×1080、サイズ1MB以内。それ以外はオーバーレイできません



3.11 HDR(HLG)



HDR (HLG) の紹介

HDR (HLG) ボタンをクリックすると、コントラストを強化して画質を向上させます



起動前



起動後

3.12チェックフィールド



チェックフィールドの紹介

画像内の特定のエリアや問題を強調するために、さまざまな色のオーバーレイを適用できます



起動後

チェックフィールド-色

チェックフィールドには4色（白黒グラデーション、赤、緑、青）があり、対応する色を選択して画像の色を調整します



3.13 ガイド



ガイドの紹介

異なるアスペクト比を表示することで、撮影中に最終的な出力フォーマットを理解し、重要な要素がフレーム内に適切に配置されるようにします。

ガイド-オプション

1. ガイドフレームには1.85:1、2:1、2.35:1、2.39:1、カスタムのオプションがあります
2. 対応するパラメータを選択してフレームサイズを調整するか、パラメータをカスタマイズして正確に調整します





(80%)



(90%)



(4: 3)



(1: 1)



(16: 9)



(1.85:1)



(9: 16)



(15: 9)



(2.35:1)



(1.5:1)



カスタム横効果



カスタム横効果



(2:1)



カスタム縦効果



カスタム縦効果



(2.39:1)

ガイド-マーキング

ガイドフレームボタンをクリックすると、ガイドフレーム部分のみが画面に表示されます



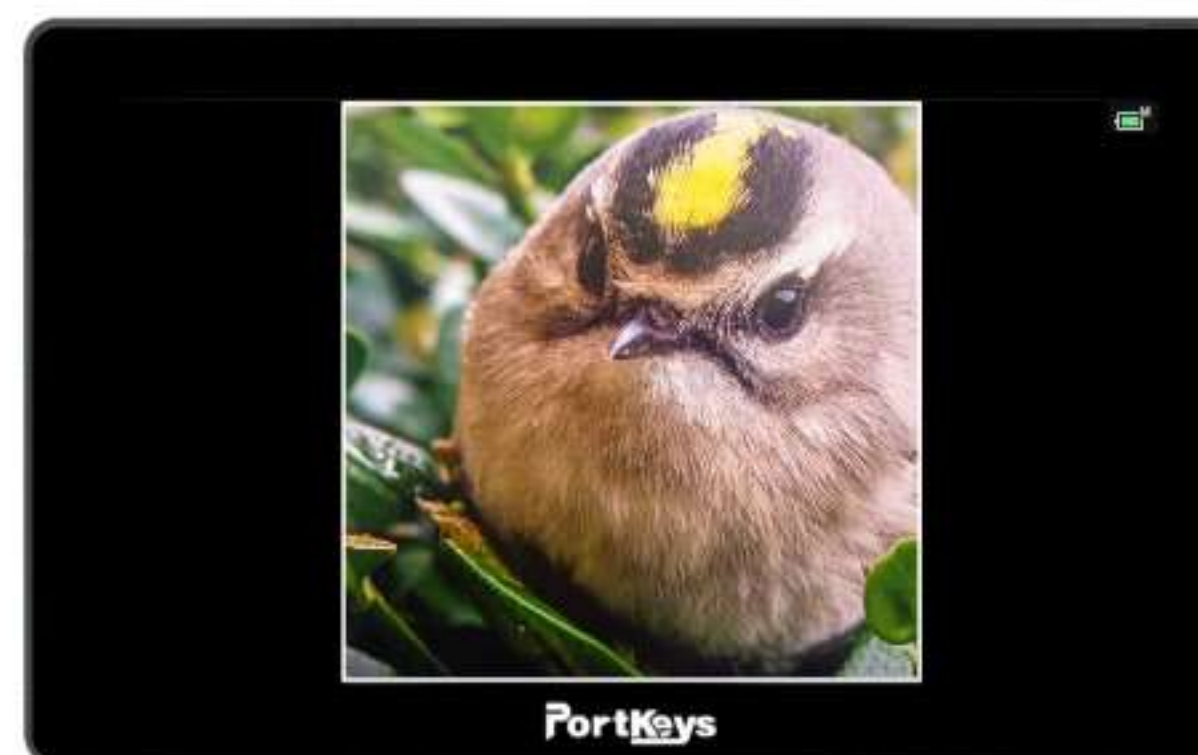
マーキング前



マーキング後

ガイド-色

ガイドフレームの色は白、赤、緑、青があり、対応する色を選択して調整できます



白



赤



緑



青

3.14クロスヘア



クロスヘアの紹介

画像上にクロスヘアの基準線を表示し、被写体の正確な配置を支援します

クロスヘア-水平移動

スライダーを動かしてクロスヘアを左右に移動します



左にスワイプ



右にスワイプ

クロスヘア-水平移動

スライダーを動かしてクロスヘアを上下に移動します



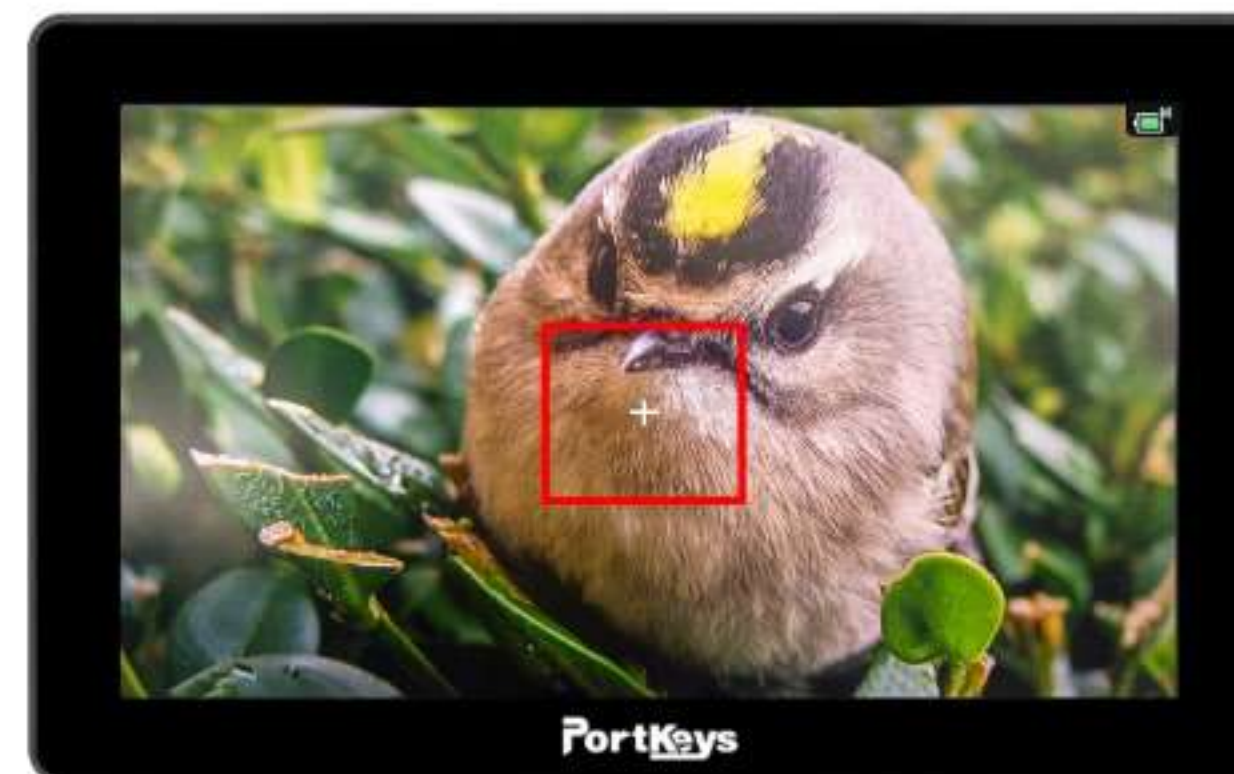
左にスワイプ



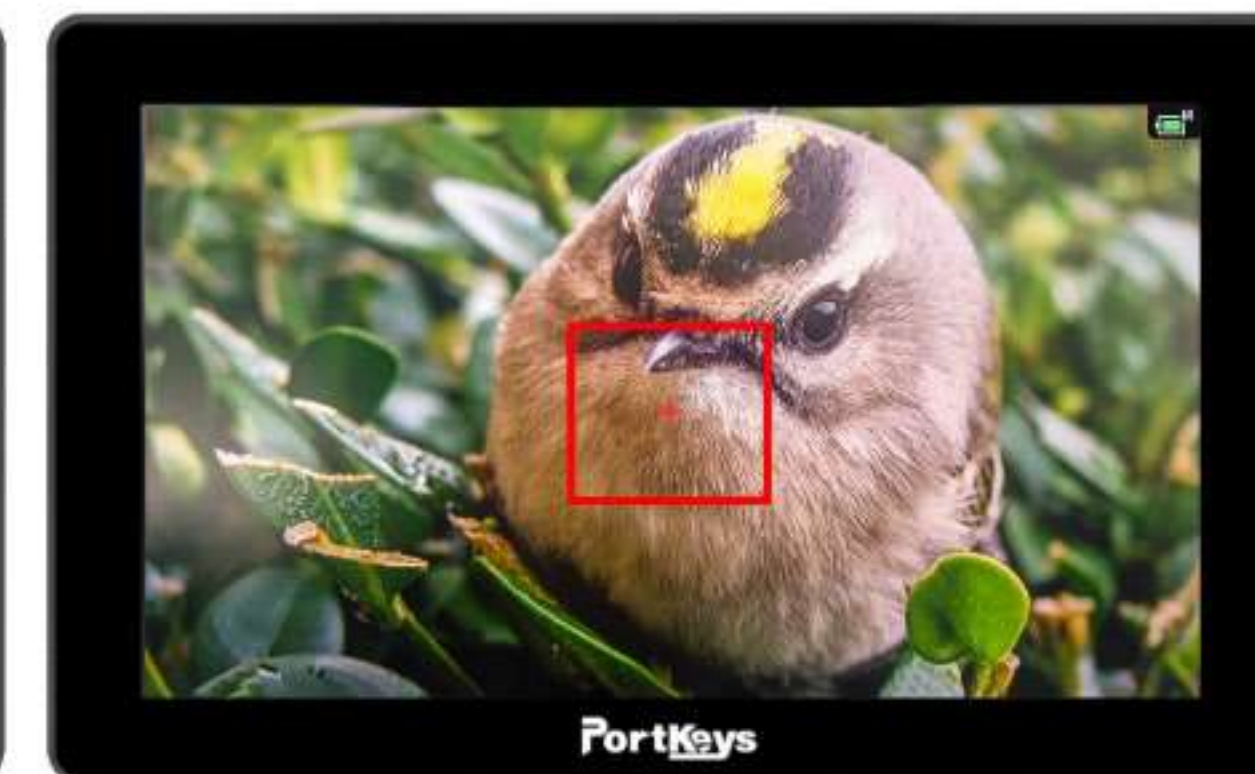
右にスワイプ

クロスヘア-色

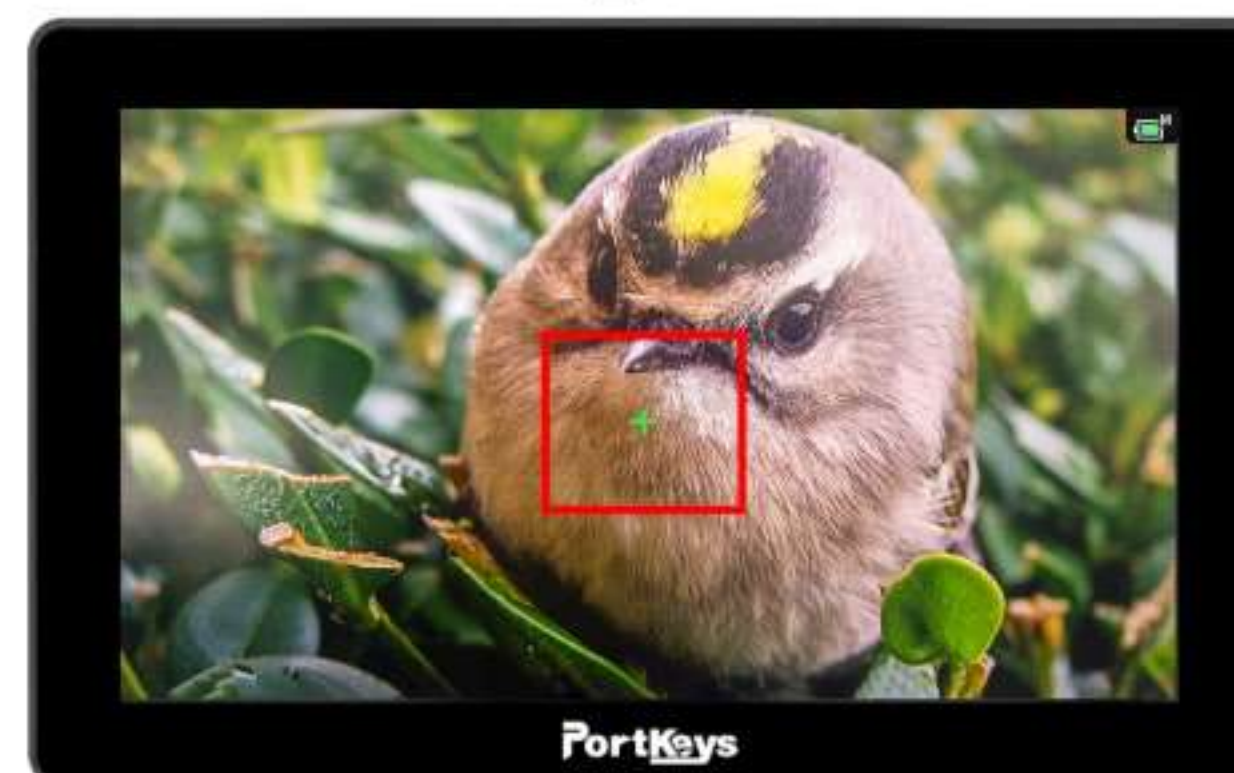
クロスヘアの色は白、赤、緑、青から選択でき、対応する色を選択して調整します



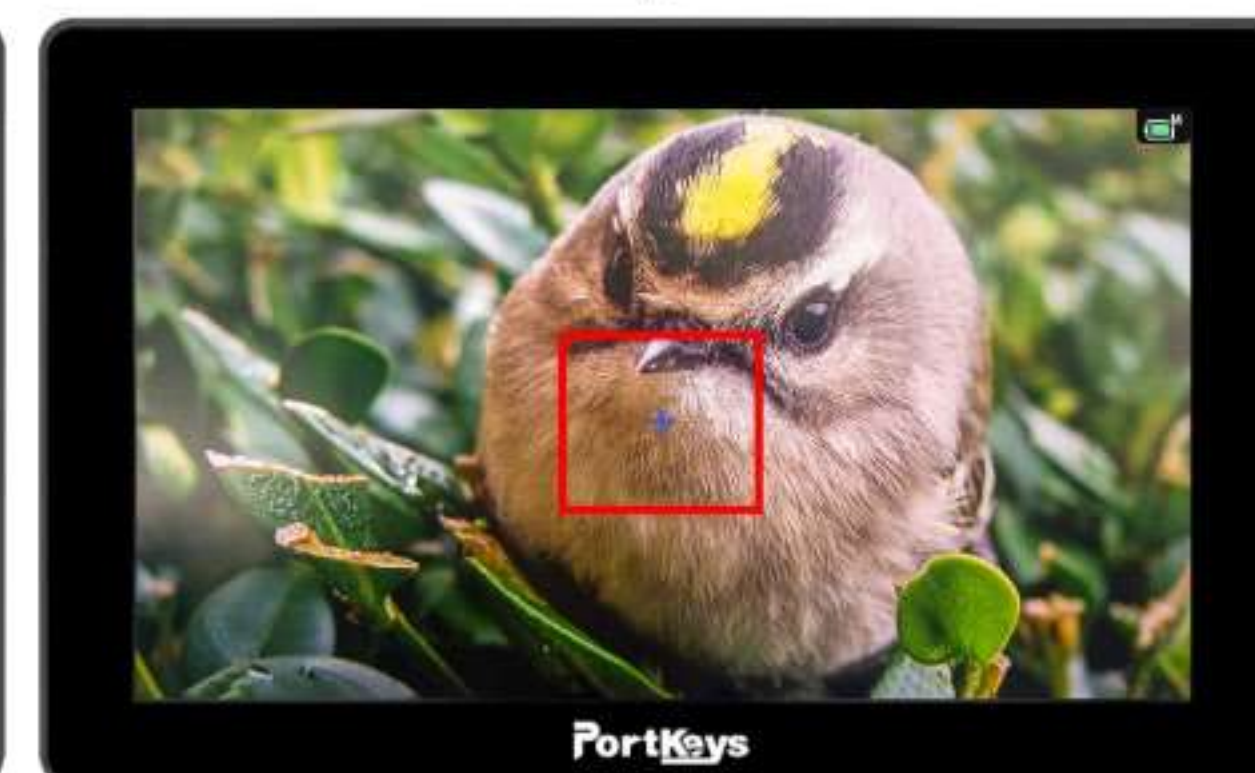
白



赤



緑



青

3.15グリッド



グリッドの紹介

グリッドを有効にすると画像が均等に分割され、構図の調整がより正確かつ便利になります

グリッド-範囲

グリッド範囲をクリックし、スライダーを調整してグリッドの数を増やします

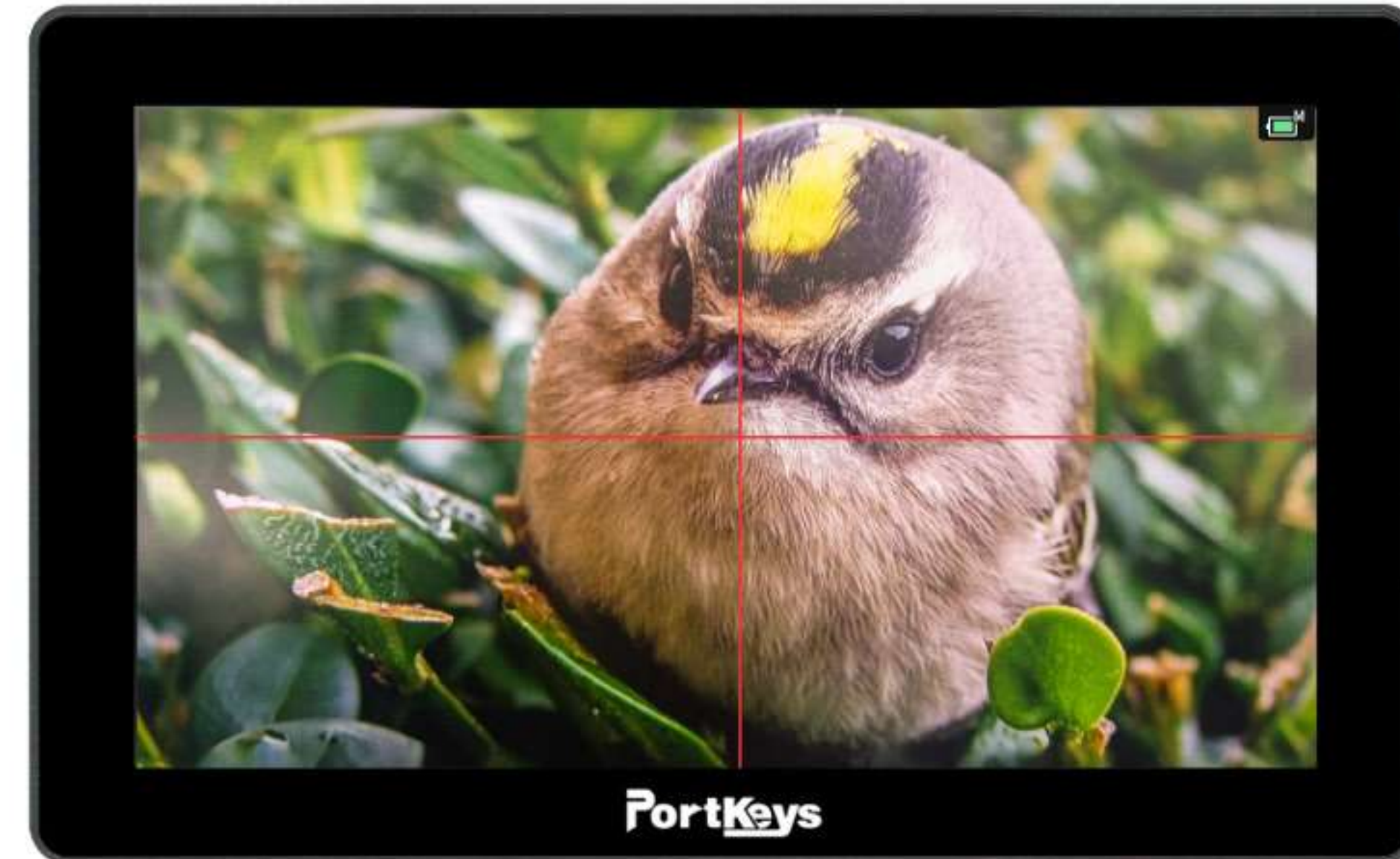


グリッド-色

グリッドの色は白、赤、緑、青から選択でき、対応する色を選択して調整します



白



赤



緑



青

設定の紹介

4.1 画像



画像設定の紹介

調整可能な画像パラメータには、輝度、コントラスト、彩度、シャープネス、色合い、バックライト輝度、ディストーション、色温度が含まれます

画像-コントラスト



コントラスト効果の比較

コントラストアイコンをクリックして左右にスワイプし、0～100の範囲で彩度を調整します

画像-輝度



輝度効果の比較

輝度アイコンをクリックして左右にスワイプし、0～100の範囲で輝度を調整します



輝度効果の比較



コントラスト効果の比較



コントラスト効果の比較

画像-彩度



彩度効果の比較



彩度効果の比較

コントラストアイコンをクリックして左右にスワイプし、0～100の範囲で彩度を調整します

画像-シャープネス



シャープネス効果の比較



シャープネス効果の比較

シャープネスアイコンをクリックし、スライダバーを左右に動かして画面の明るさを調整します。調整範囲は0～10

画像-色合い



色合い効果の比較



色合い効果の比較

色合いアイコンをクリックし、スライダバーを左右に動かして画面の明るさを調整します。調整範囲は0～100

画像-バックライト



バックライト輝度効果の比較

バックライト輝度アイコンをクリックし、スライダーバーを左右に動かして画面の明るさを調整します。調整範囲は1～10



バックライト輝度効果の比較

画像-ディストーション



ディストーションアイコンをクリックして歪みパラメータを調整し、画像サイズを変更します。初期設定には1.00X、1.33X、1.42X、1.50X、1.60X、1.66X、1.80X、1.85X、2.00X、2.35X、カスタム4.00Xが含まれます



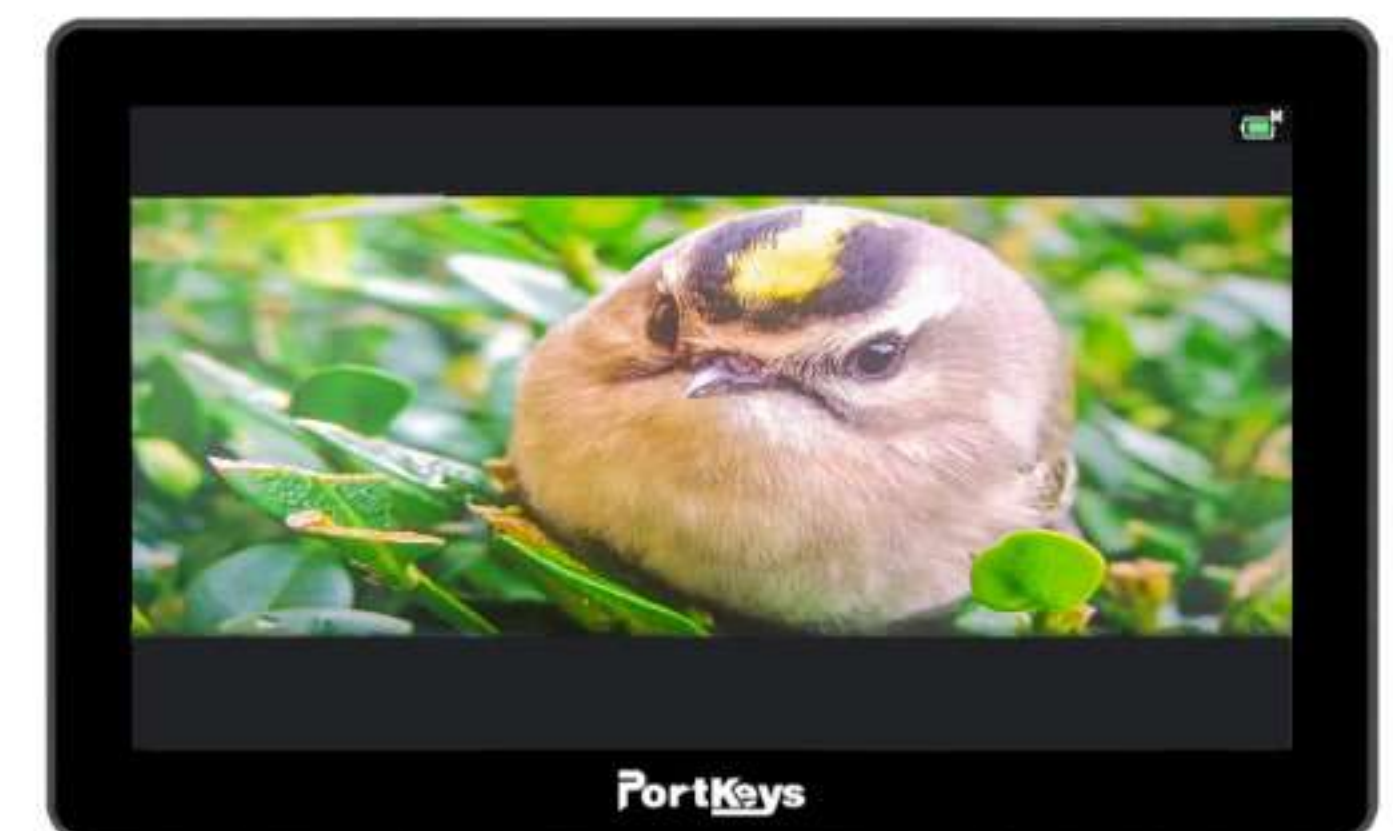
(1.00X)



(1.33X)



(1.42X)



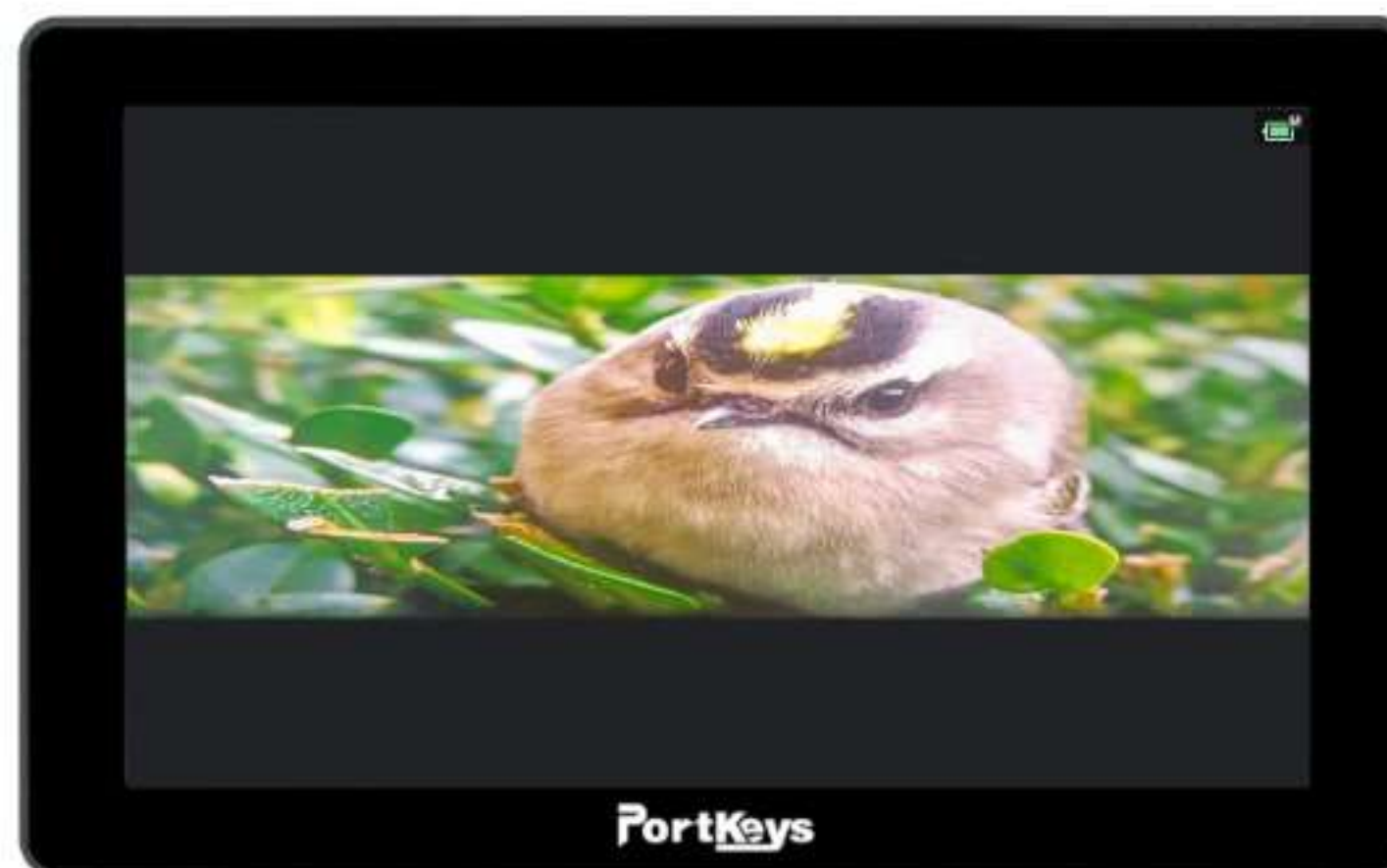
(1.50X)



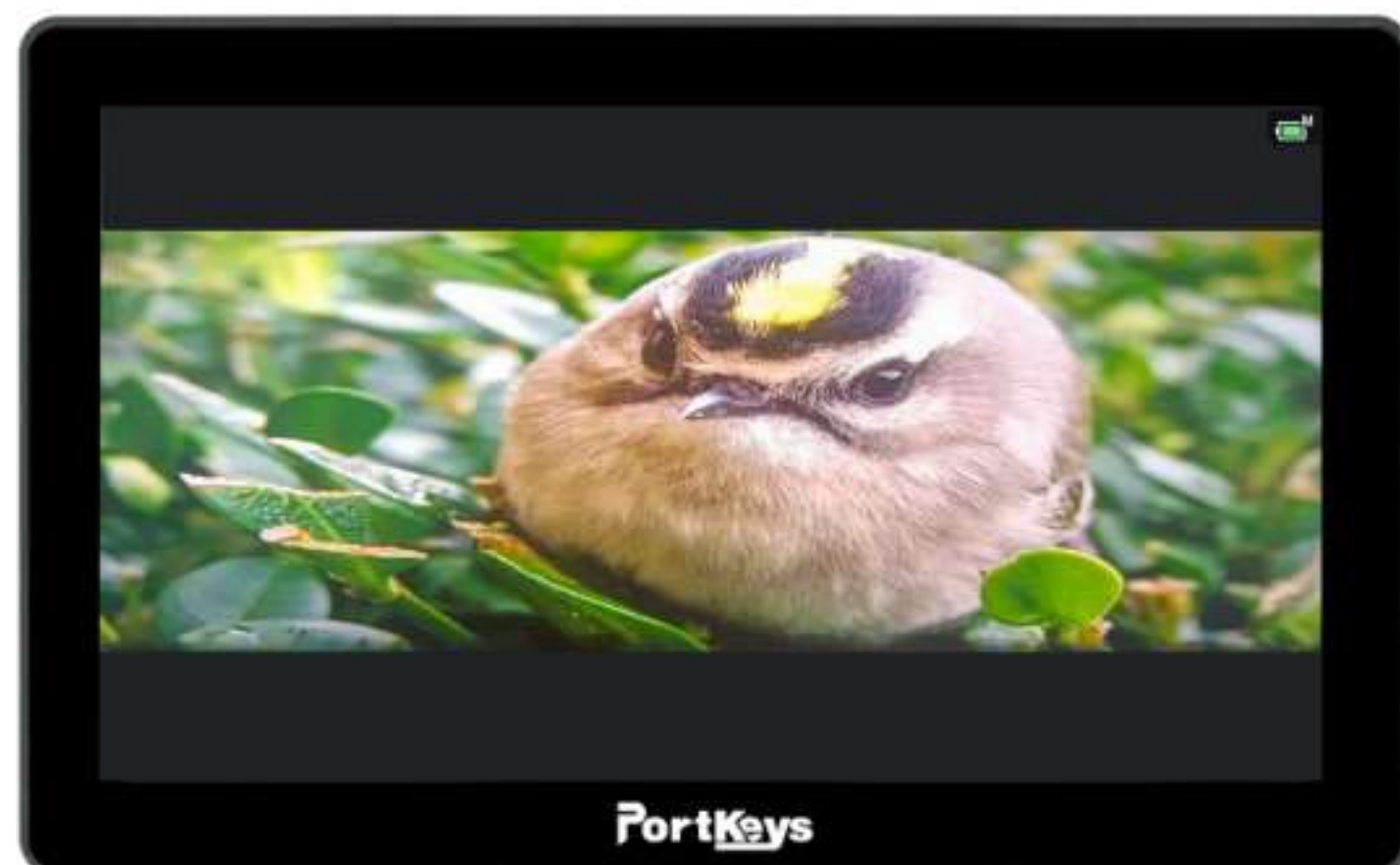
(1.60X)



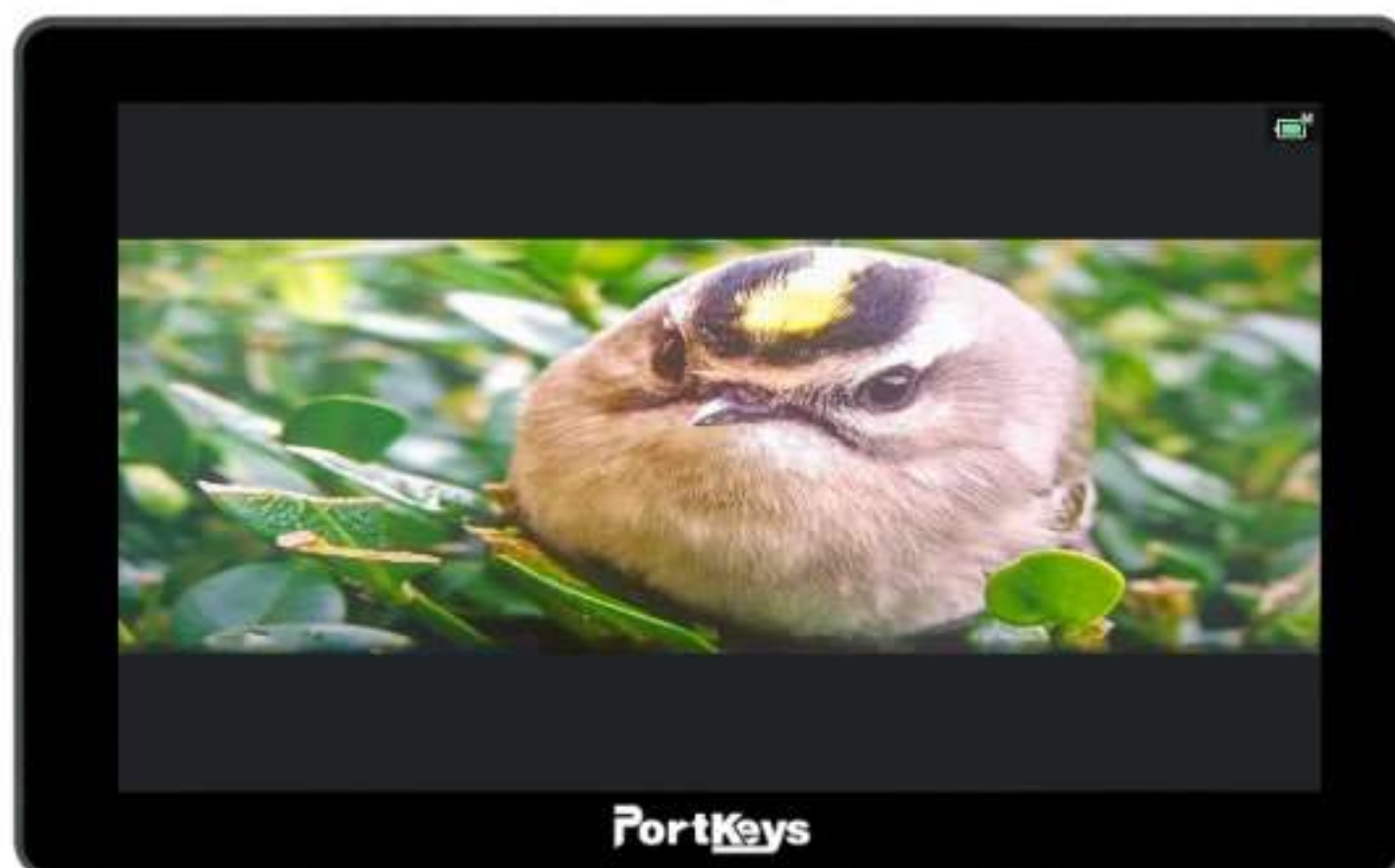
(1.66X)



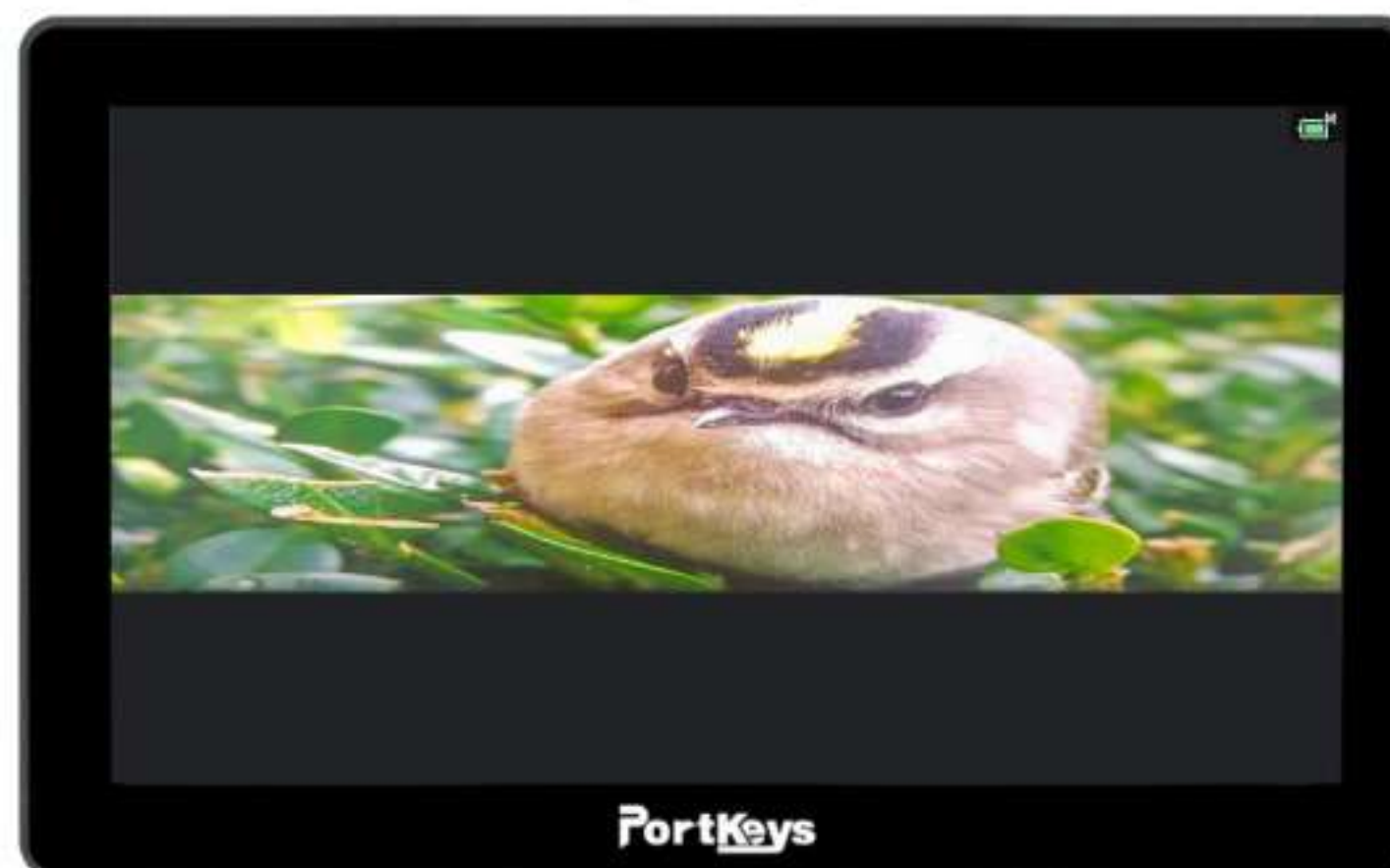
(1.80X)



(1.85X)



(2.00X)



(2.35X)

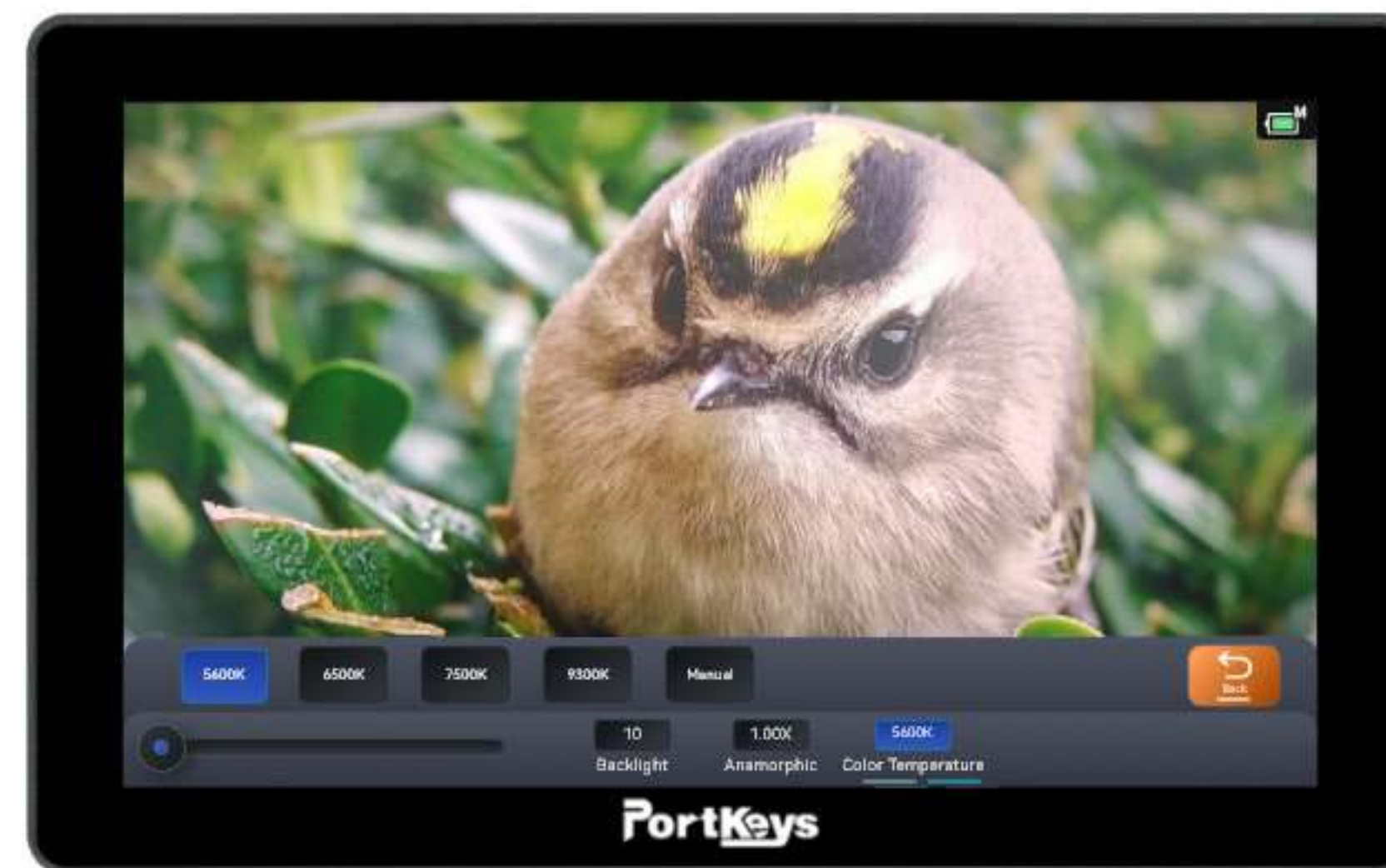


(User 4.00X)

画像-色温度



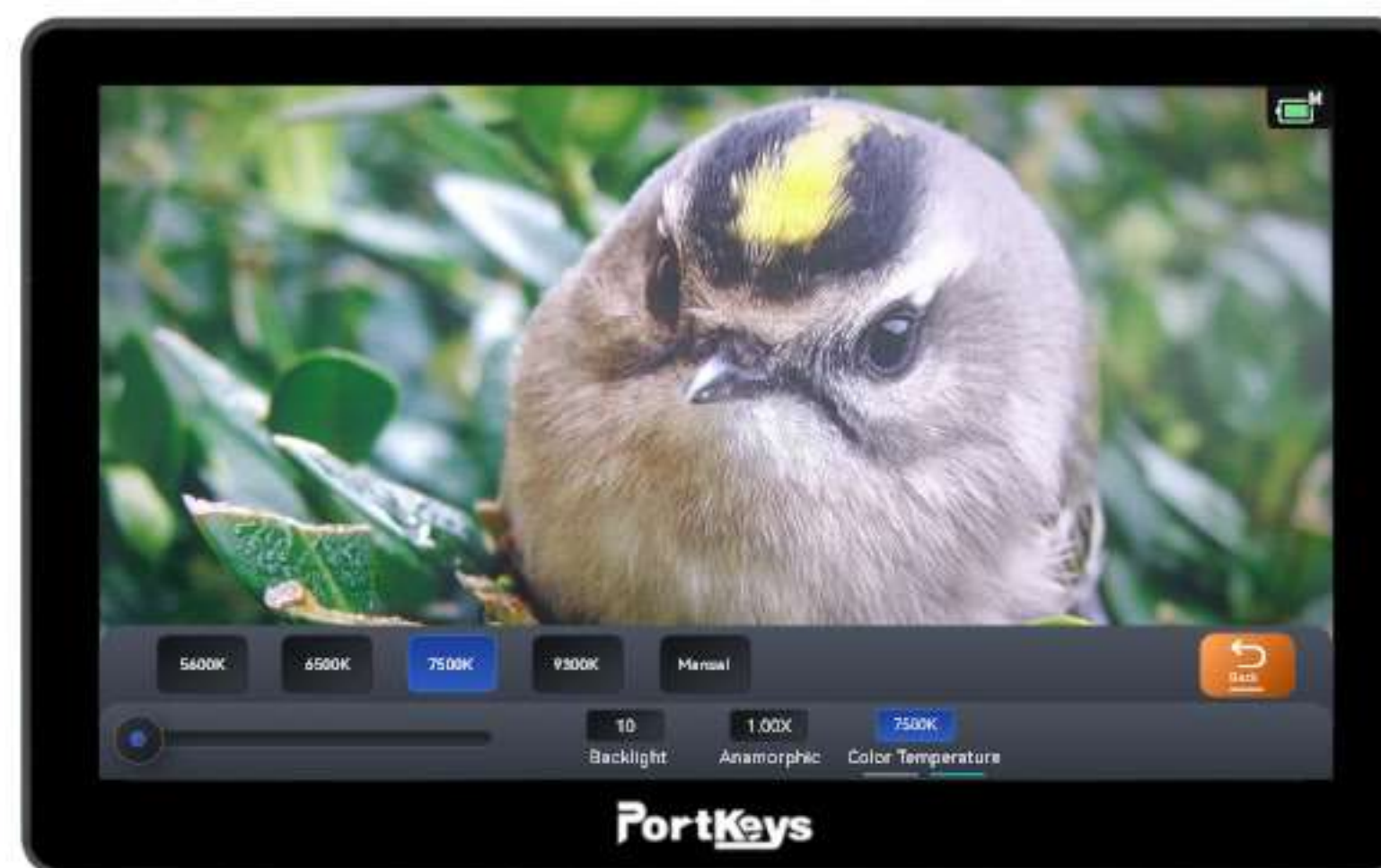
画像の色温度パラメータを手動で設定可能です。デフォルトの色温度には5600K、6500K、7500K、9300Kなどがあります



(5600K)



(6500K)

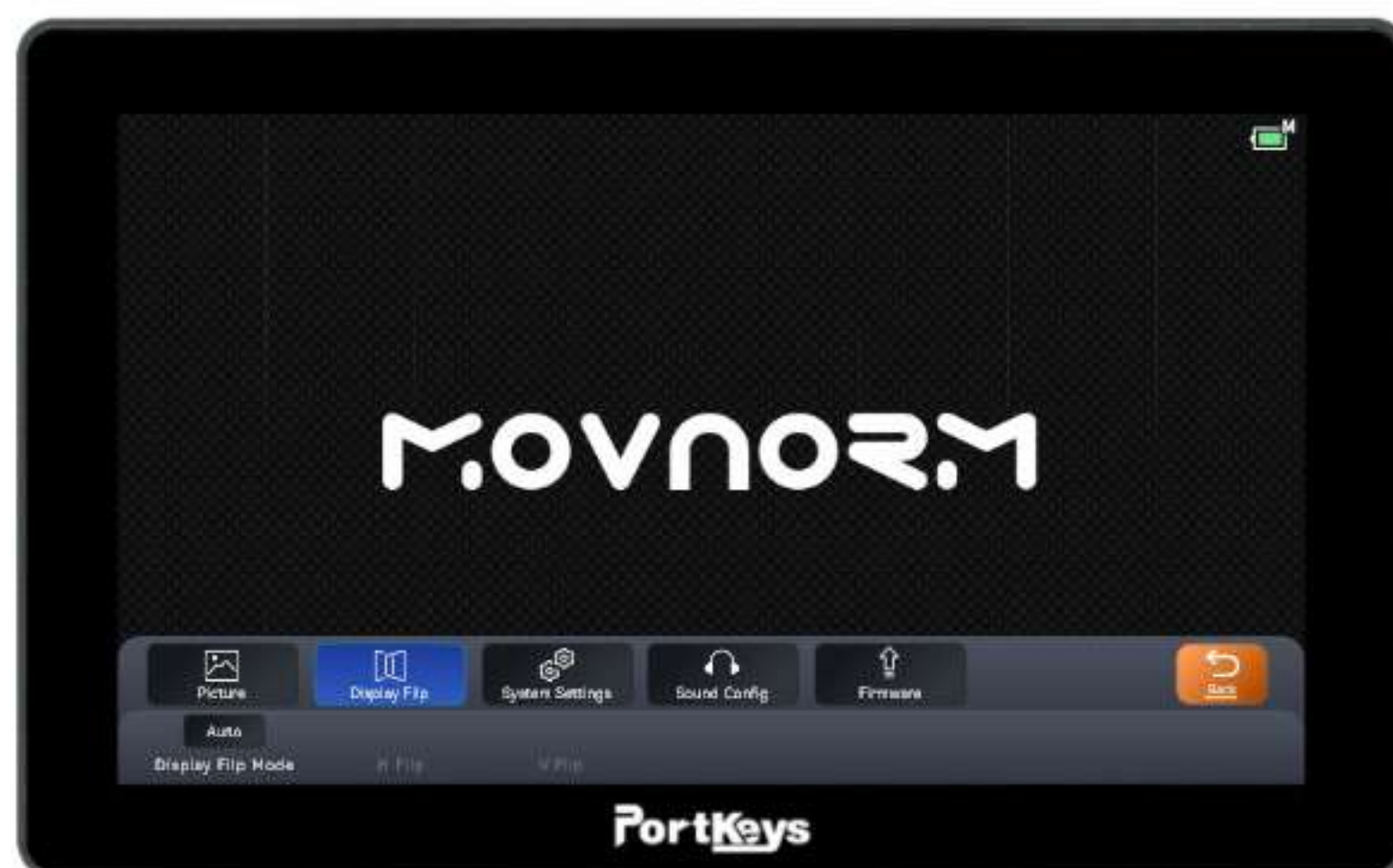


(7500K)



(9300K)

4.2画面反転



画面反転の紹介

メニューバーや画像を縦方向または横方向に反転させます

画面反転-自動



自動反転は、モニターのセンサー位置に基づいて画像とメニューを自動的に回転させます

画面反転-メニュー反転モード



画面反転アイコンをクリックすると、反転モードには水平反転と垂直反転があります。ユーザーは実a際の状況に応じてメニューの反転方向を選択できます



水平反転



垂直反転

4.3システム設定



システム設定の紹介

システム設定には、メニュー言語、メニュー透過率、システムリセット、黒レベル、ジェスチャーによるズーム、メニュー効果、録画ボタン位置などが含まれます

システム設定-メニュー言語

メニュー言語をクリックすると、言語オプションに入ります。ユーザーは実際の状況に応じて適切な言語を選択できます。言語には英語、繁体字中国語、日本語、簡体字中国語、ロシア語、フランス語、スペイン語などがあります



English



简体中文



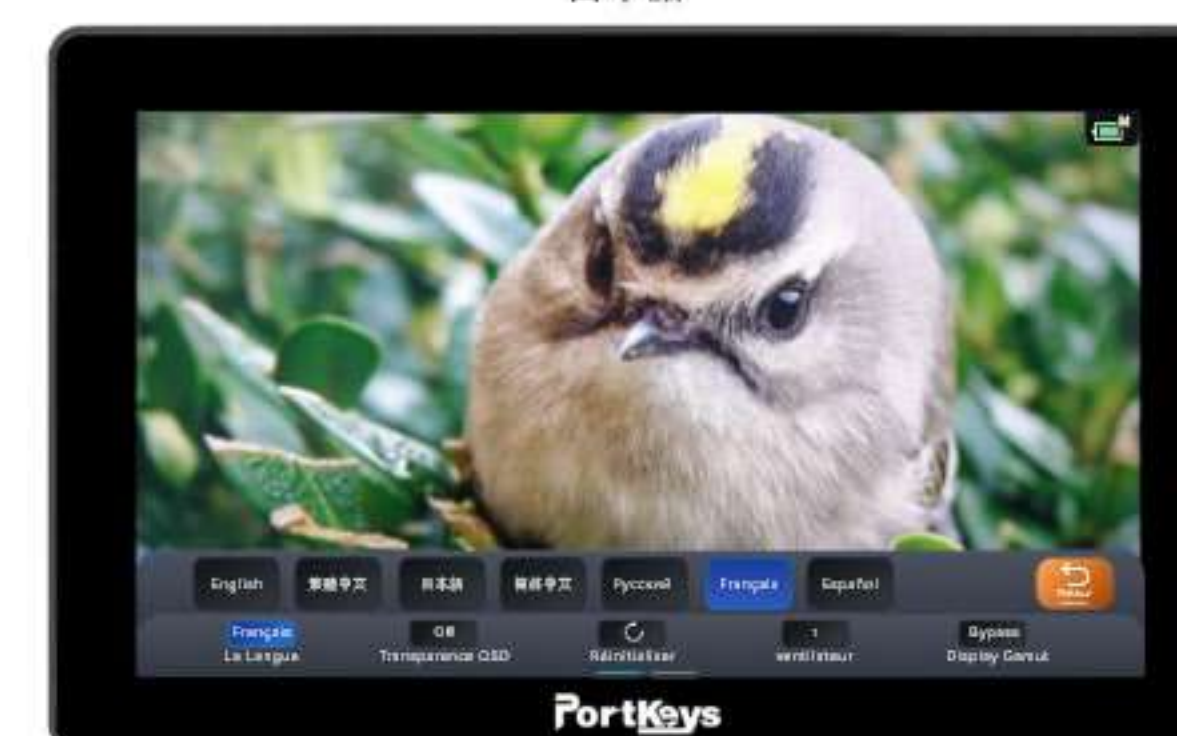
繁体中文



日本語



Русский



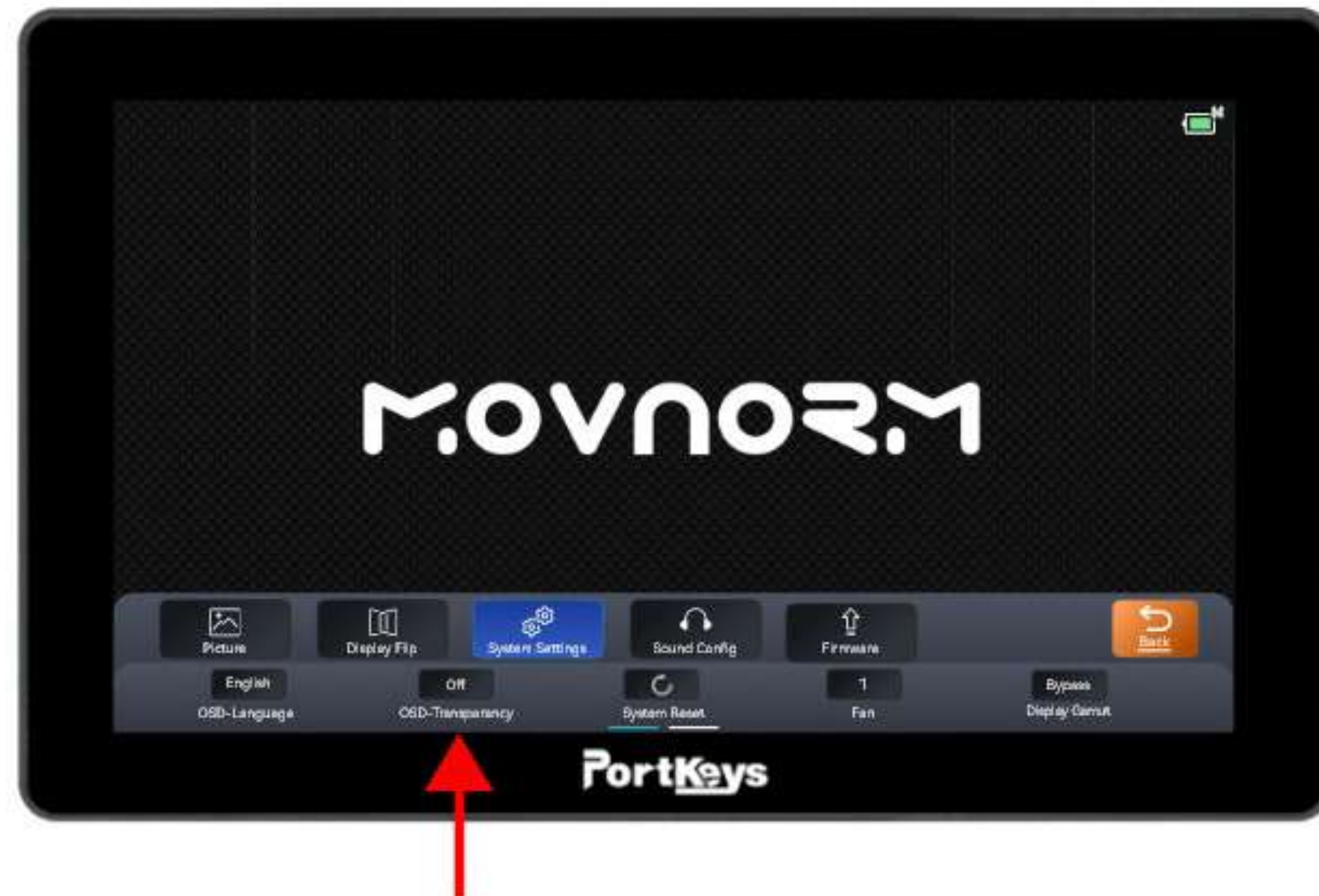
Français



Español

システム設定-メニュー透過率

メニュー透過率アイコンをクリックすると、画面の変化に合わせてメニューの透過度を調整できます。オプションにはオフ、低、中、高があり、実際のニーズに応じて選択可能です



オフ



Low



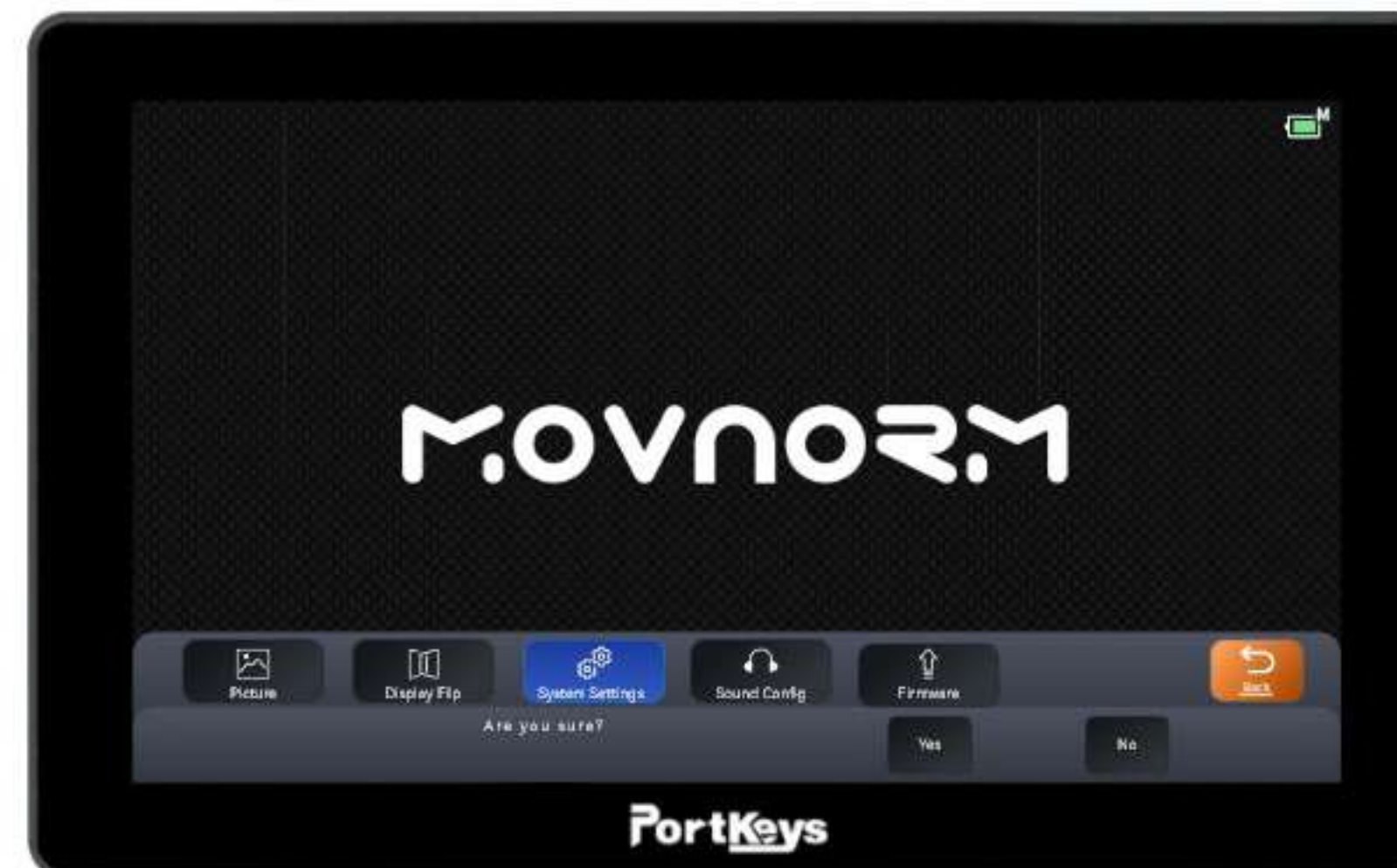
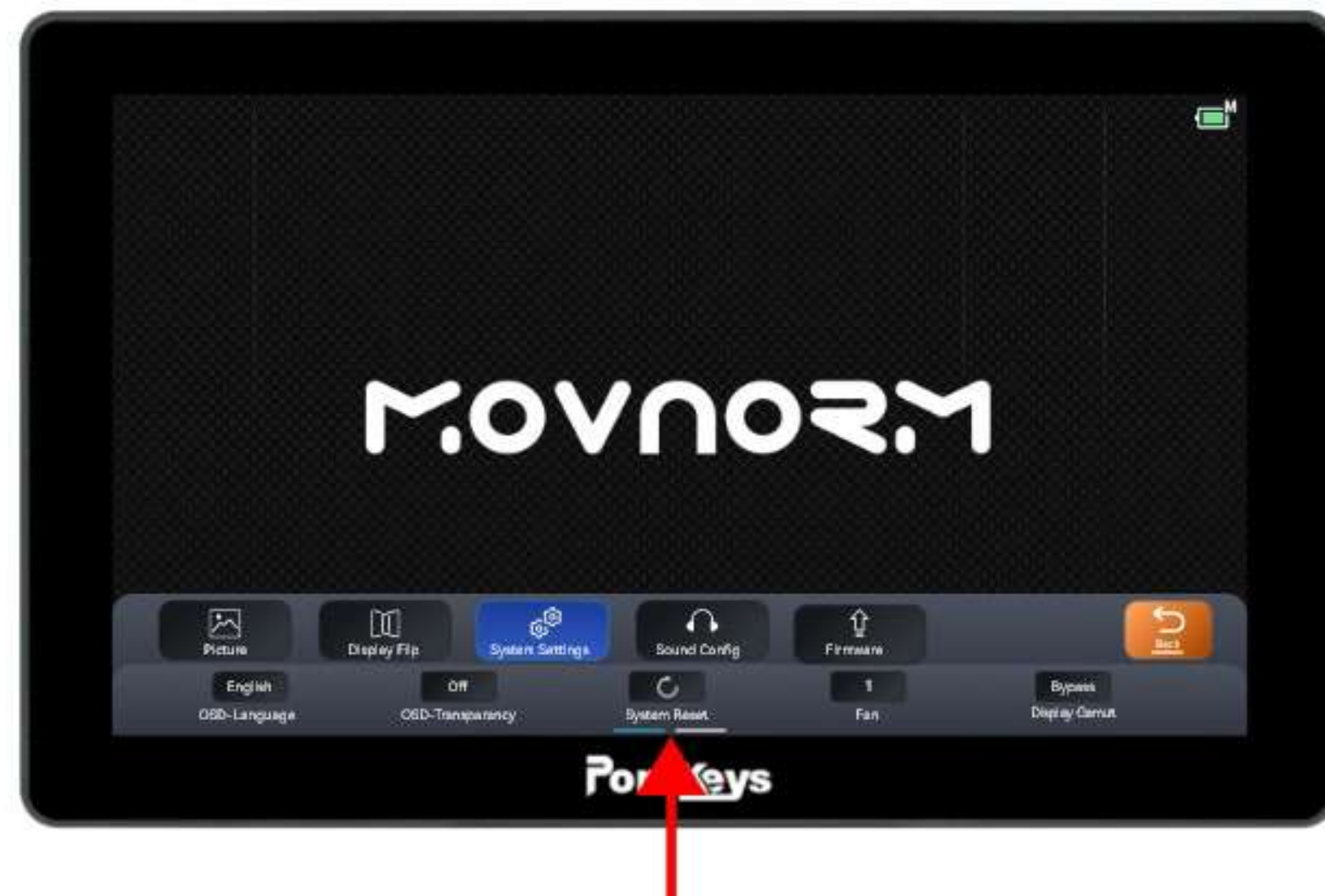
中



高

システム設定-システムリセット

システムリセット: システムの初期パラメータをリセットしますシステムリセットアイコンをクリックして、リセットするかどうかを選択します

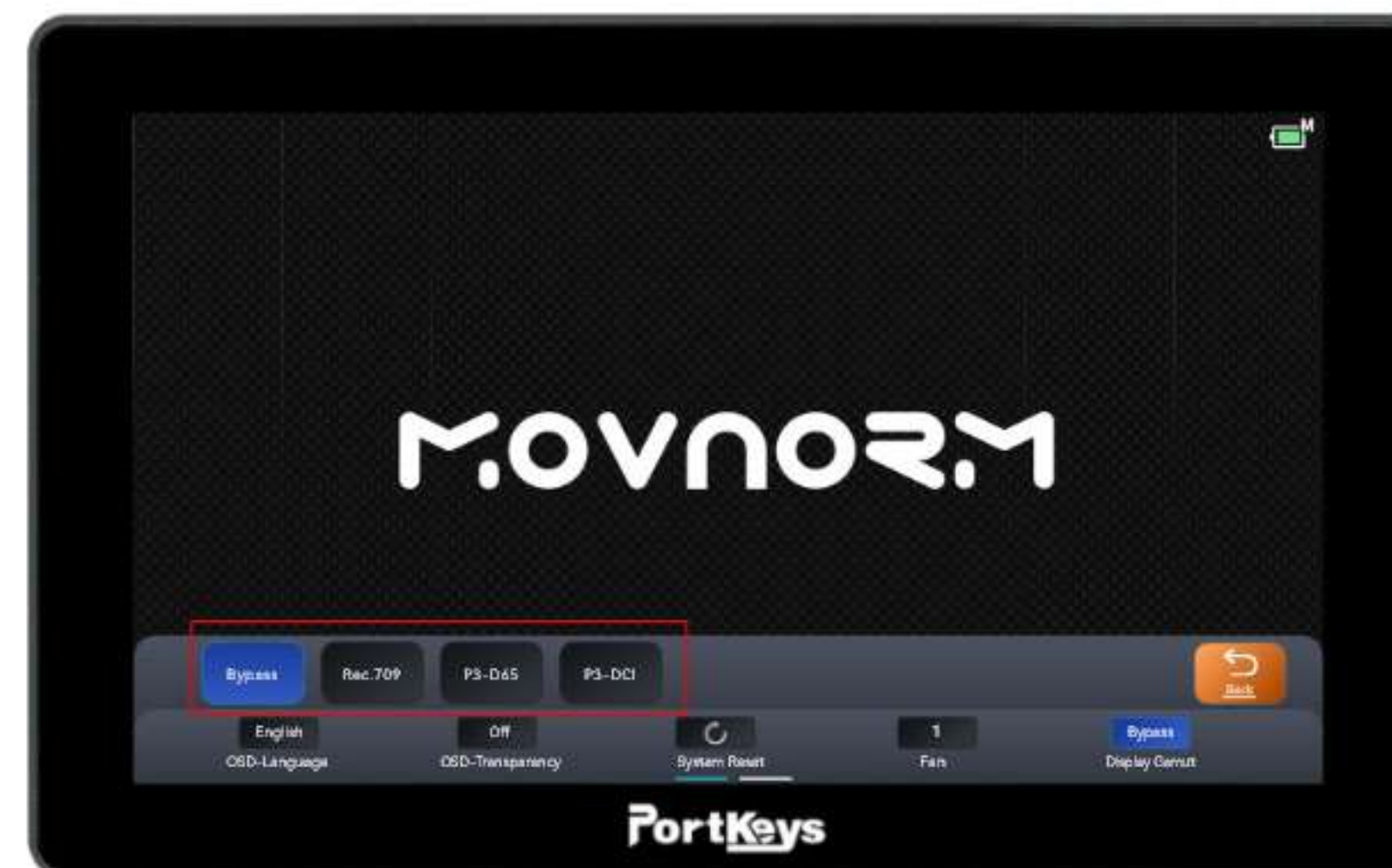


システム設定-静音ファン



ファンアイコンをクリックしてファンのギア段階を調整します。調整可能な値は1～5です

システム設定-色域表示



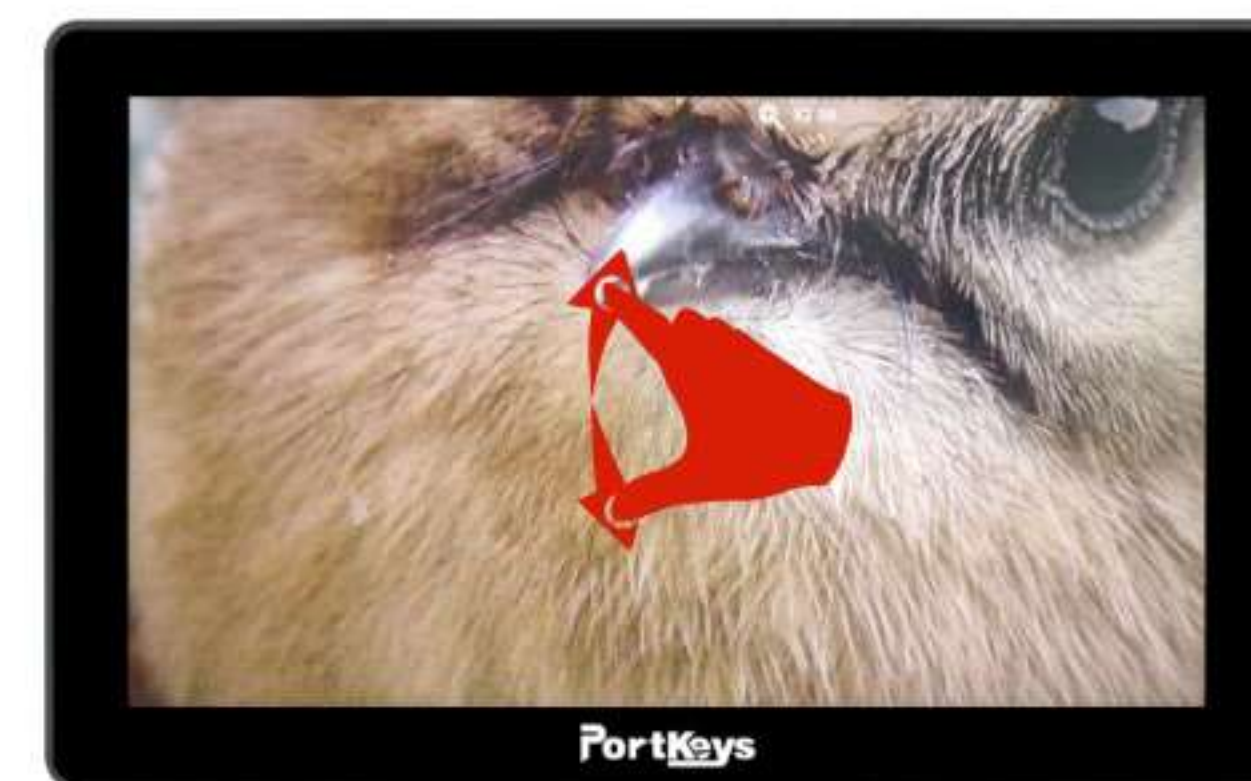
色域表示ボタンをクリックすると、モニターの表示色域を切り替えられます。選択可能な色域にはスルー、Rec.709、P3-D65、P3-DCがあります

システム設定-ジェスチャーによるズーム

ジェスチャーによるズームアイコンをオンにすると、2本指で画面上に置き、左右に拡大・縮小することで画面サイズを調整できます



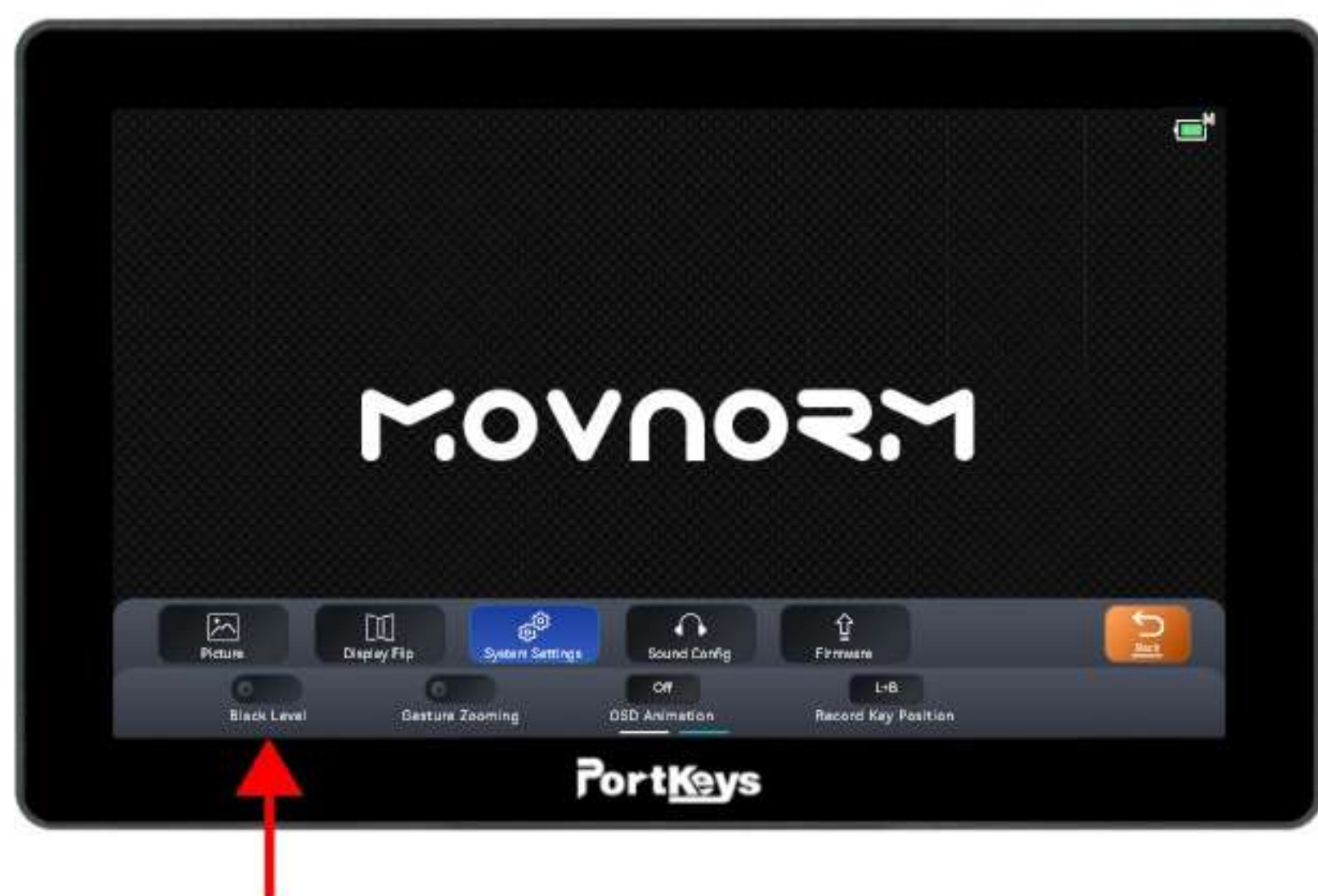
有効化前



有効化後

システム設定-黒レベル

画像の最も暗い部分の明るさを調整し、黒の表示を正確にします



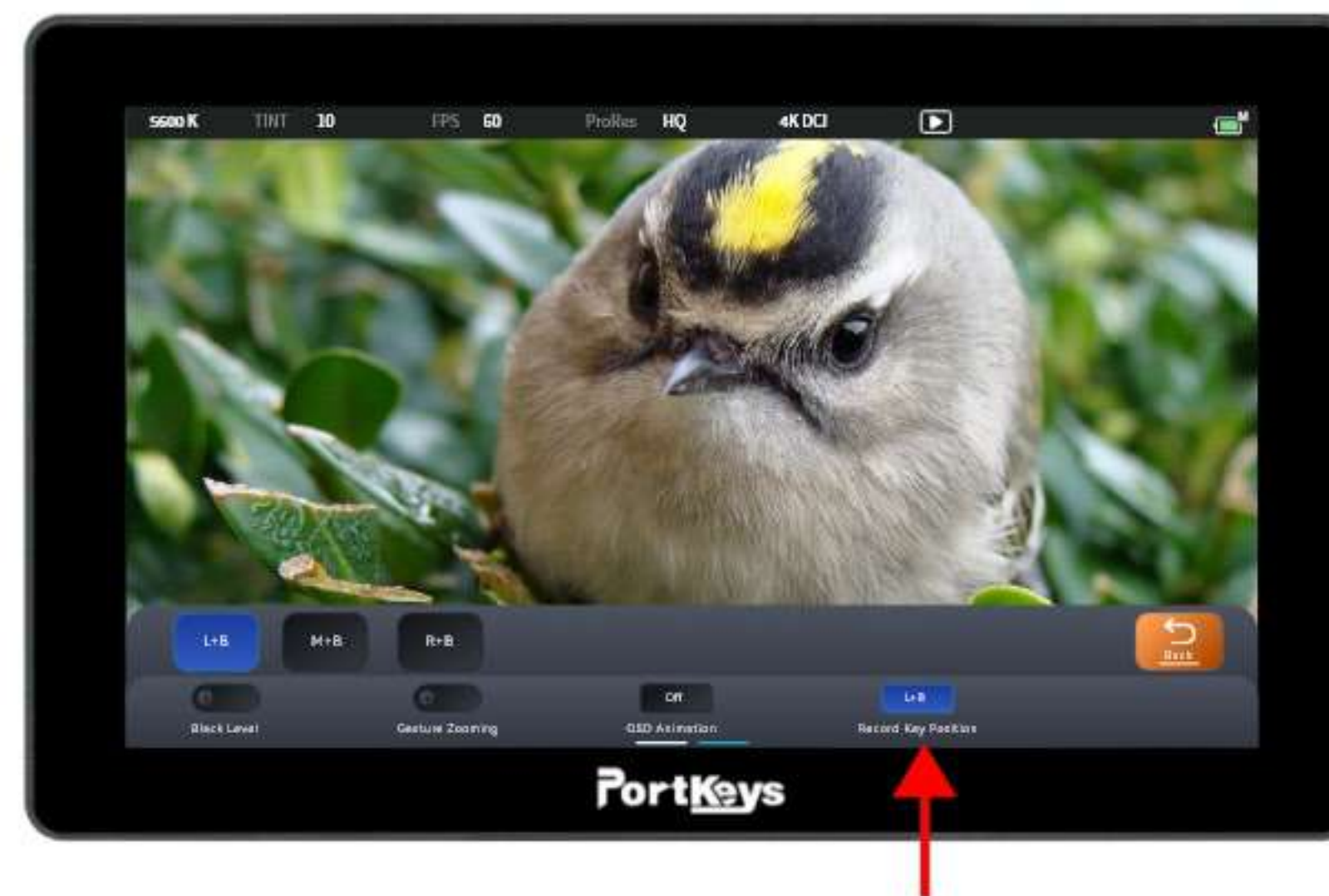
システム設定-メニュー効果

メニュー効果をオンにすると、メニューバーの画面切り替えがフェード切り替えになります



システム設定-録画ボタンの位置

録画ボタンの位置は左下、中央、右下から選べます。必要に応じて録画ボタンの位置を調整できます



メニュー効果



下中央



右下



左下

4.4サウンド設定



サウンド設定の紹介

スライダーレバーを左右に動かして音量を調整します。調整範囲は0～10です。

4.5ファームウェア



ファームウェアの紹介

モニターのファームウェアバージョンをアップグレードします。

モニターのファームウェアバージョンをアップグレードします。

Preparation Steps:

- 1、ファームウェアアップグレードファイルをUSBフラッシュドライブのルートディレクトリに入れます。
- 2、アップグレード中に電源を切ることはできません。
- 3、FAT、FAT32、EXFAT、NTFS形式のUディスクに対応しています。

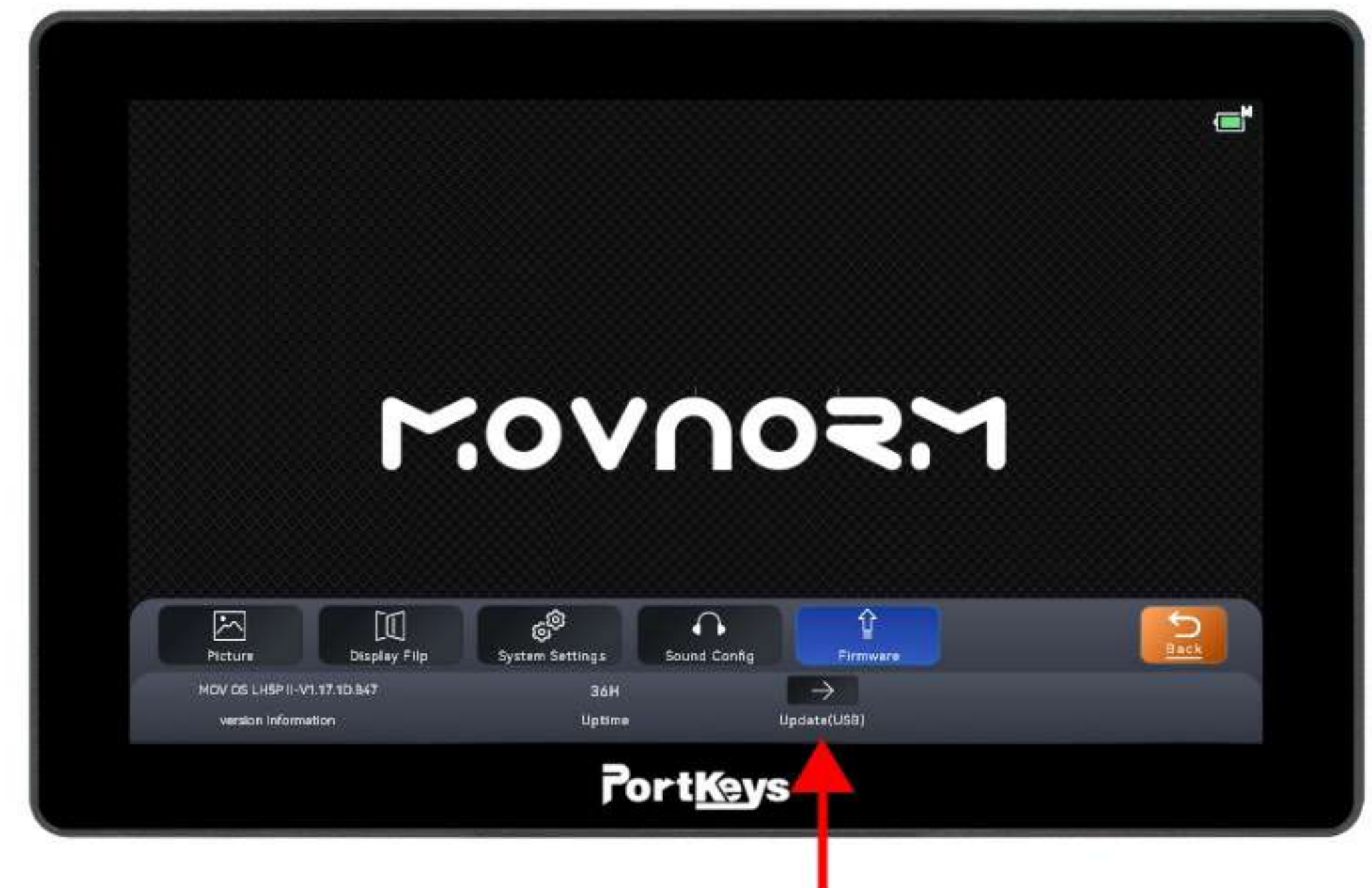
ステップ1: ファームウェアアップグレードファイルを解凍し、アップグレードファイル（LH5P II bin）をUSBフラッシュドライブのルートディレクトリに送信します。

LH5P II .bin	2024/1/22 16:00
MOV_OS_PORTKEYS_LH5P II_V1_17_...	2024/4/12 8:48

ステップ2: モニターを電源に接続し、アップグレードファイルが入ったUSBフラッシュドライブをモニターのUSB-Aポートに挿入します。



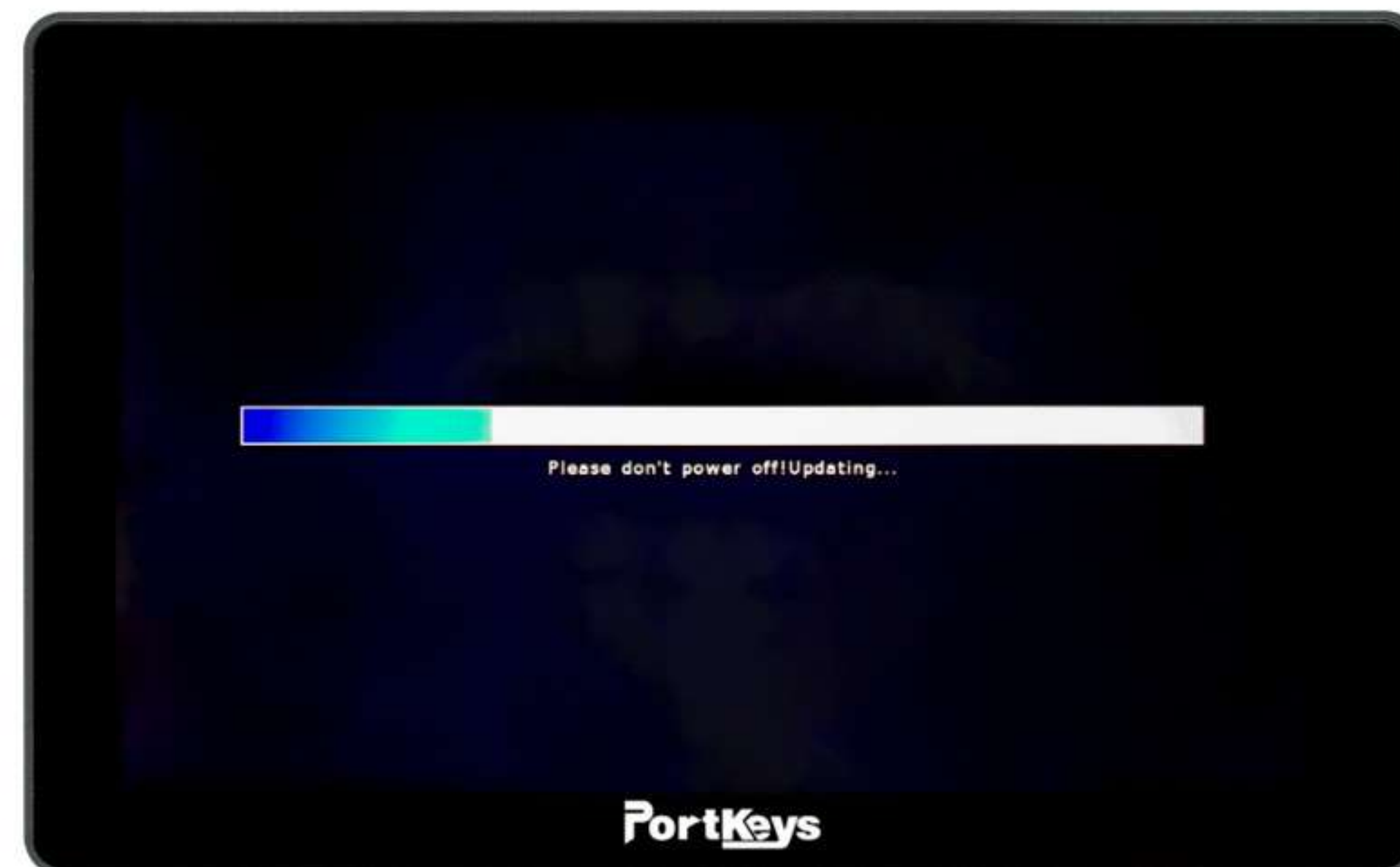
ステップ3: モニターを起動し、「設定」→「ファームウェア」→「ソフトウェアアップグレード（USB）」をクリックします。



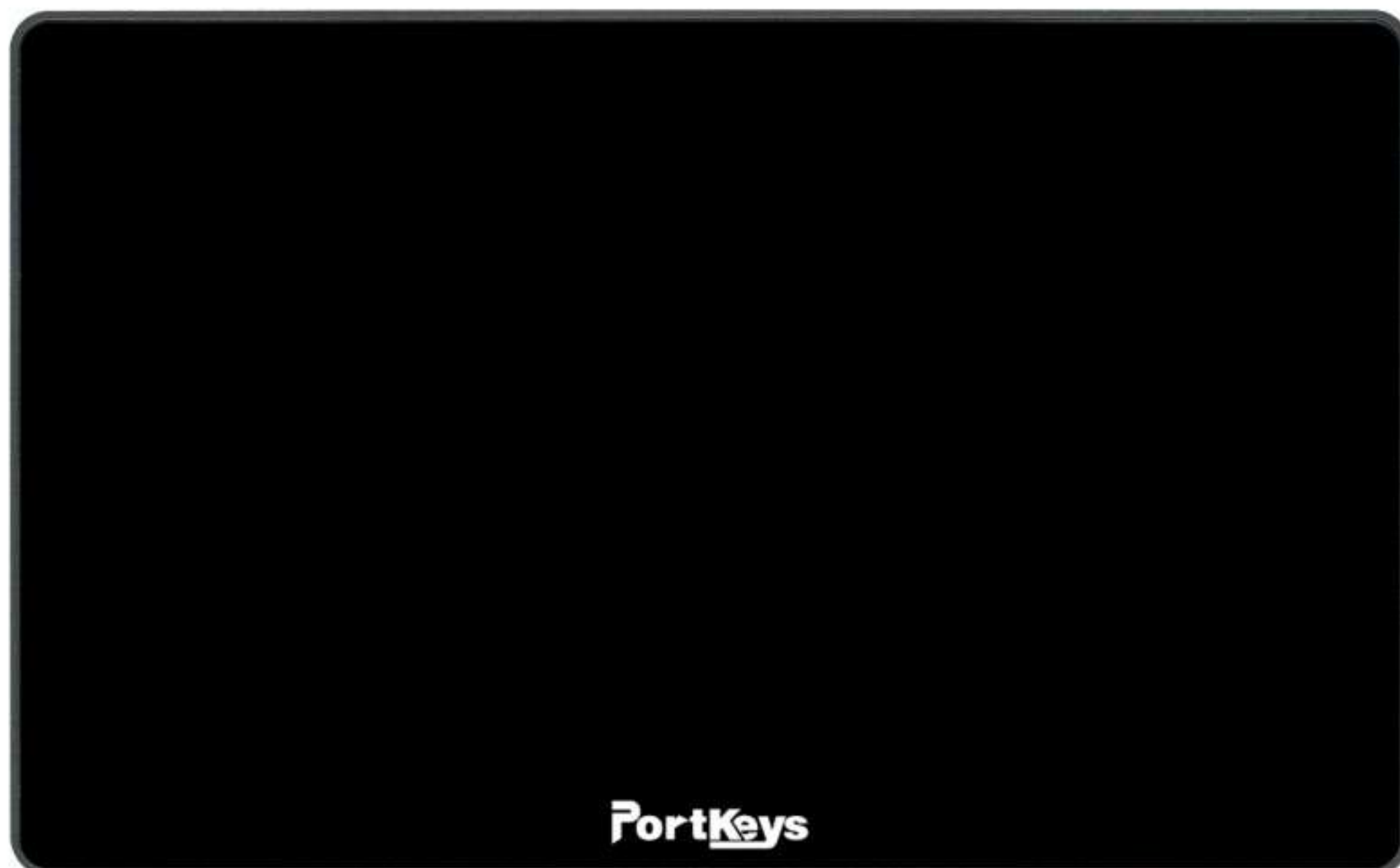
ステップ4: 「はい」を選択します。



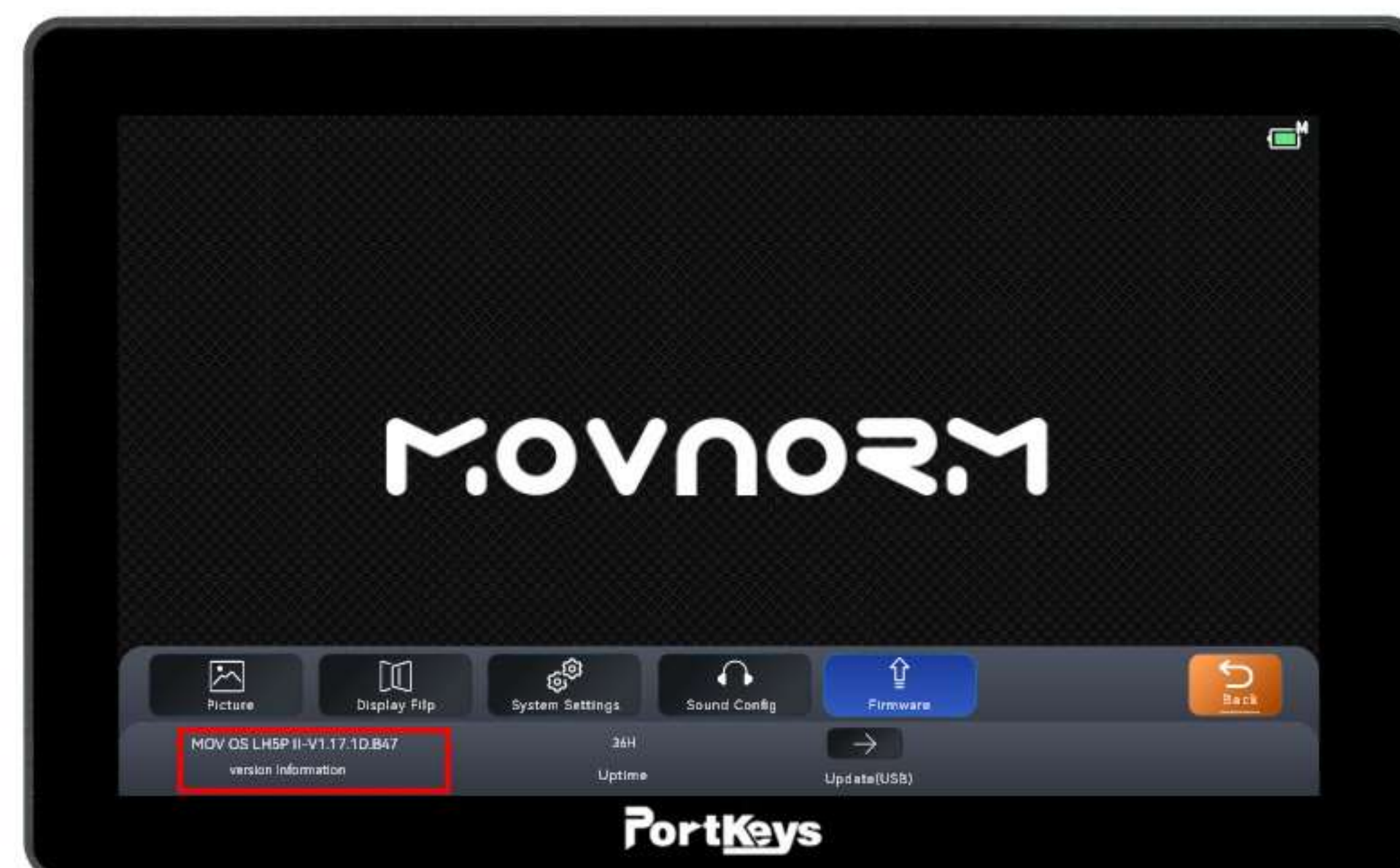
ステップ5: アップグレードが完了するのを待ちます。



ステップ6: アップグレードが完了すると、画面がブラックアウトします。これはシステム構成のアップグレードによる正常な現象であり、途中で電源を切らないでください。



ステップ7: アップグレード後、「ファームウェア」画面に入り、アップグレードが正常に行われたかを確認します。



3D LUTの紹介

5.1 3D LUT



3D LUTの紹介

3D LUTをオンにした後、「ユーザーストレージ」をクリックし、LUTファイルをクリックして画面に適用します。USB検索では、LUTファイルを外部USBフラッシュドライブに送信し、USBフラッシュドライブをモニターのUSBポートに接続し、リムーバブルディスクを選択して必要なLUTファイルをクリックし、ストレージに保存します。（LUTファイルはユーザーストレージに再保存可能）

3D LUT-USBから保存



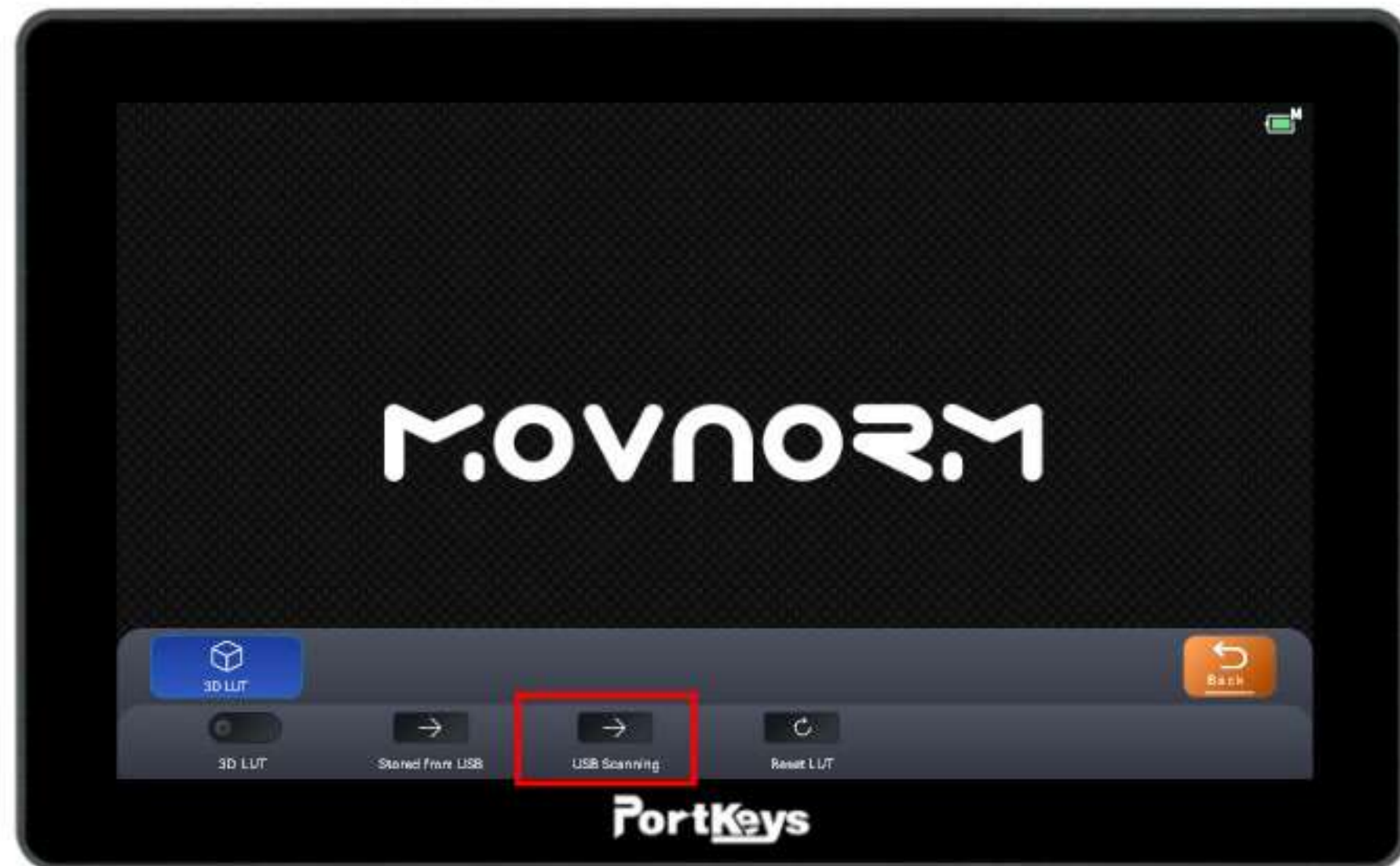
1. 「ユーザーストレージ」をクリックして3D LUTページに入り、ユーザーは実際のニーズに合ったLUTを選択して画像に適用できます。



長押し

2. 長押ししてLUTを削除選択

3D LUT-USB検索



USB検索では、準備したLUTファイルを外部USBフラッシュドライブに送信し、USBフラッシュドライブをモニターのUSBポートに接続し、リムーバブルディスクを選択して必要なLUTファイルをクリックすると、保存が完了します。
(LUTファイルはユーザーメモリに繰り返し保存可能)



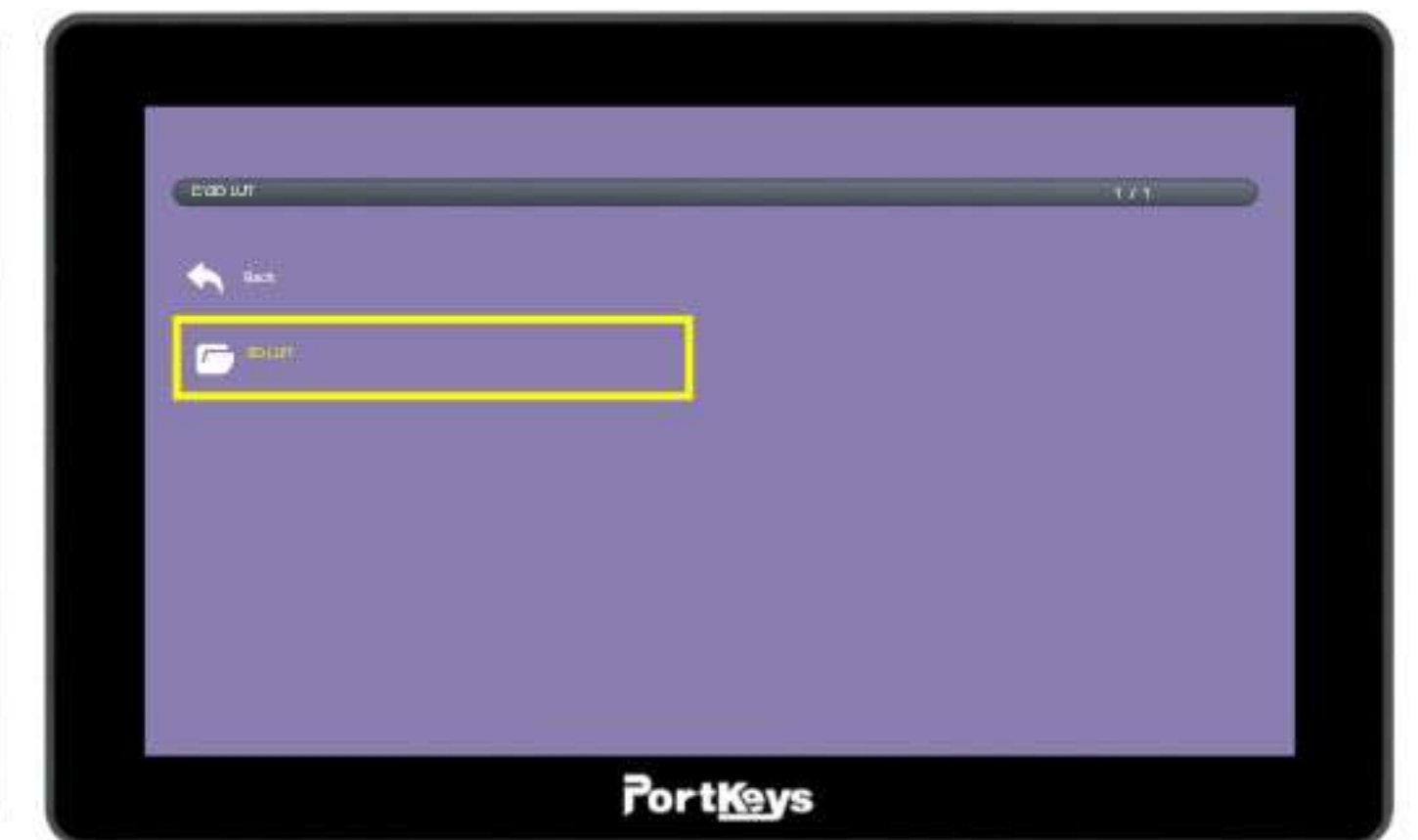
1



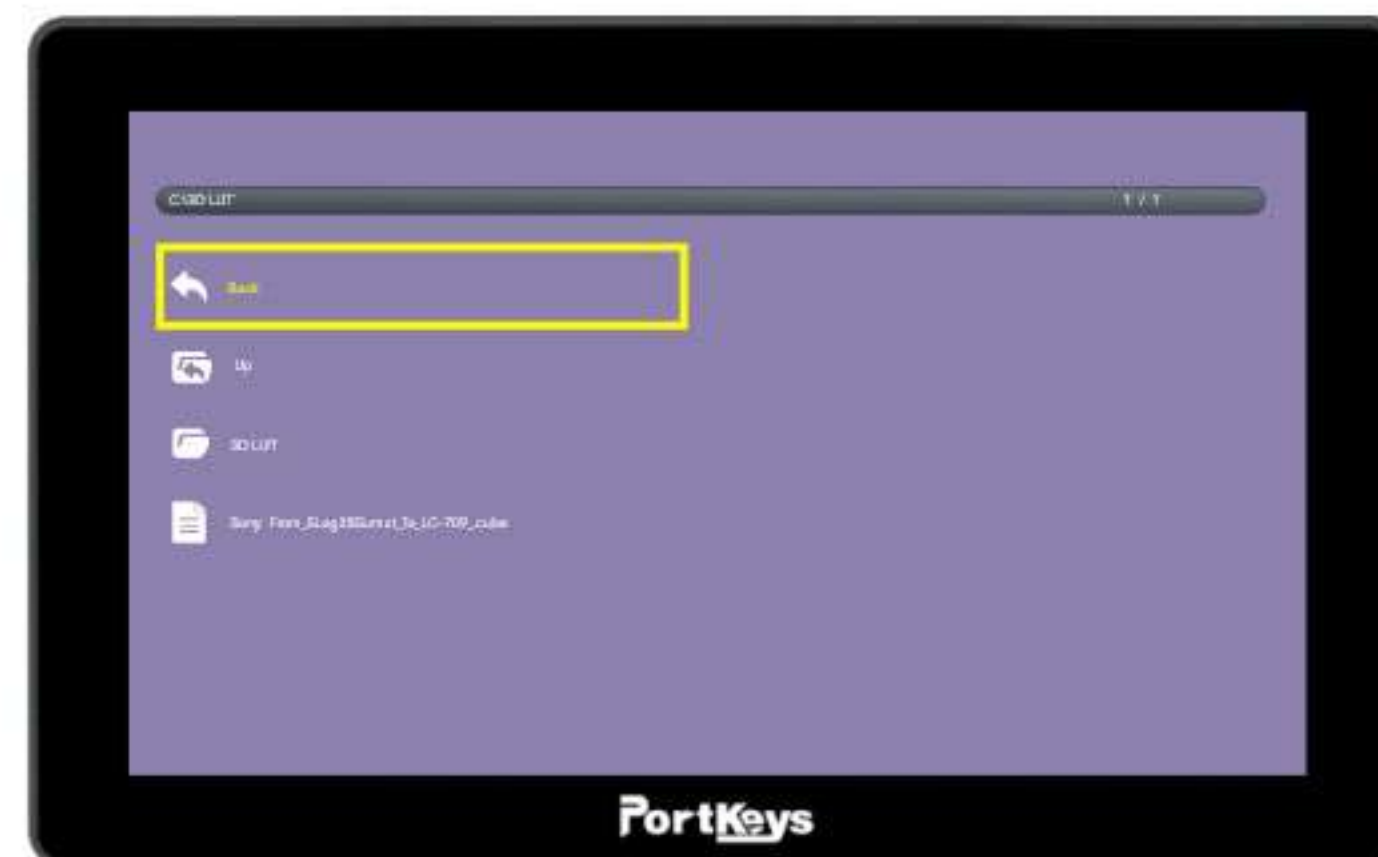
2



3



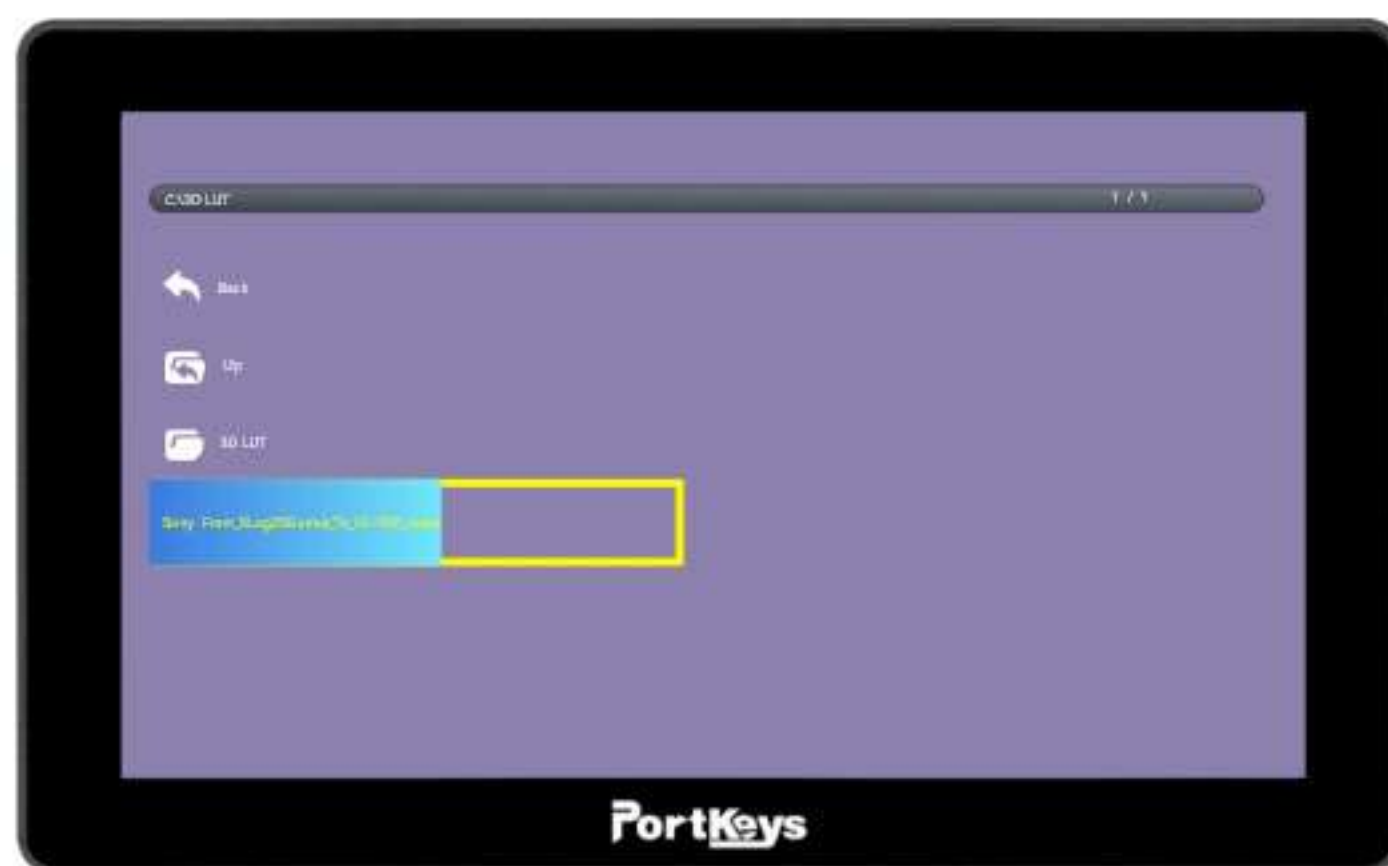
4



5



6



7



8



9

3D LUT-リセットLUT



LUTを初期設定にリセットします。



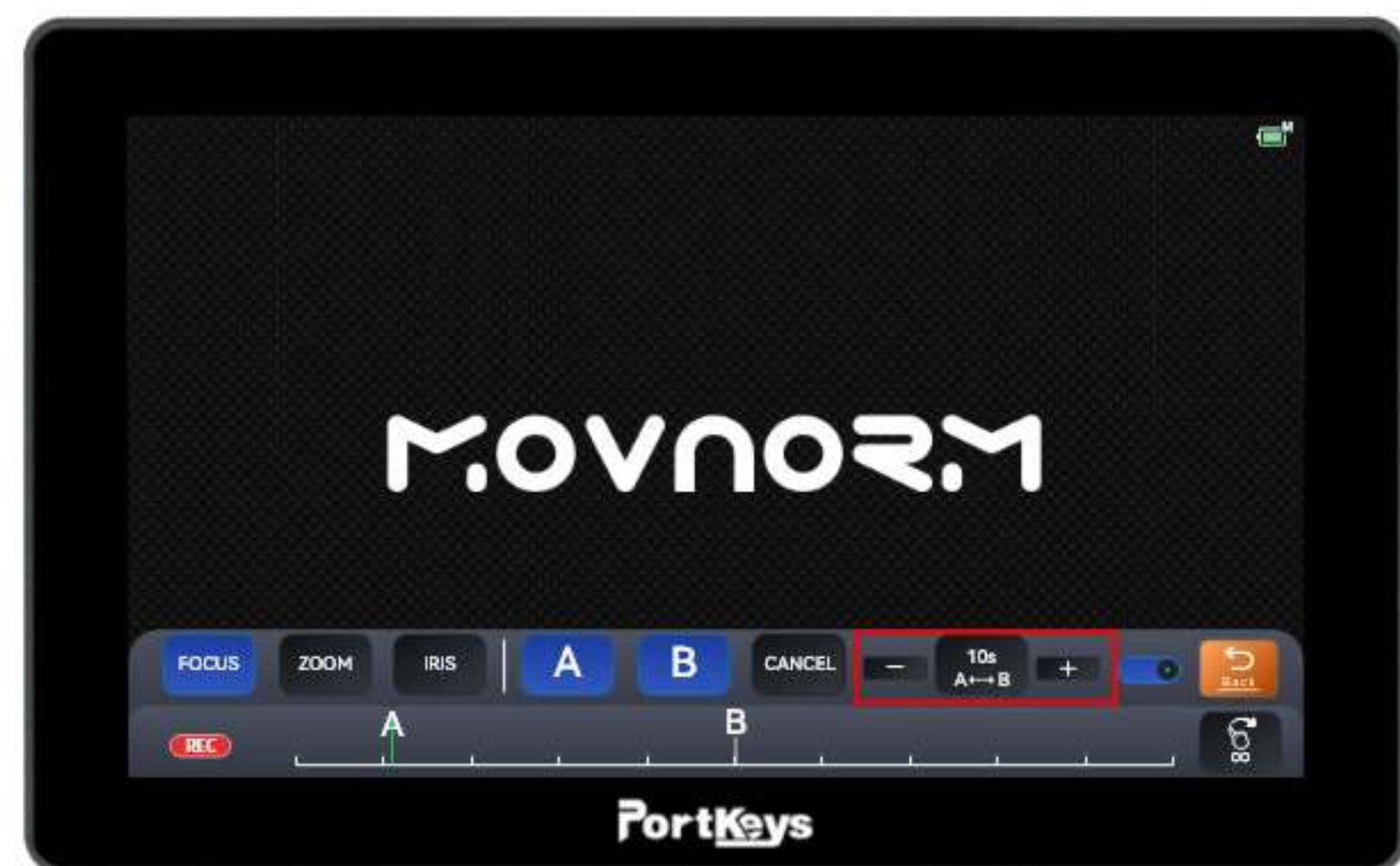
2

チェックマークボタンをクリックして、次回の撮影に向けてモーター機器の起動を確定してください。



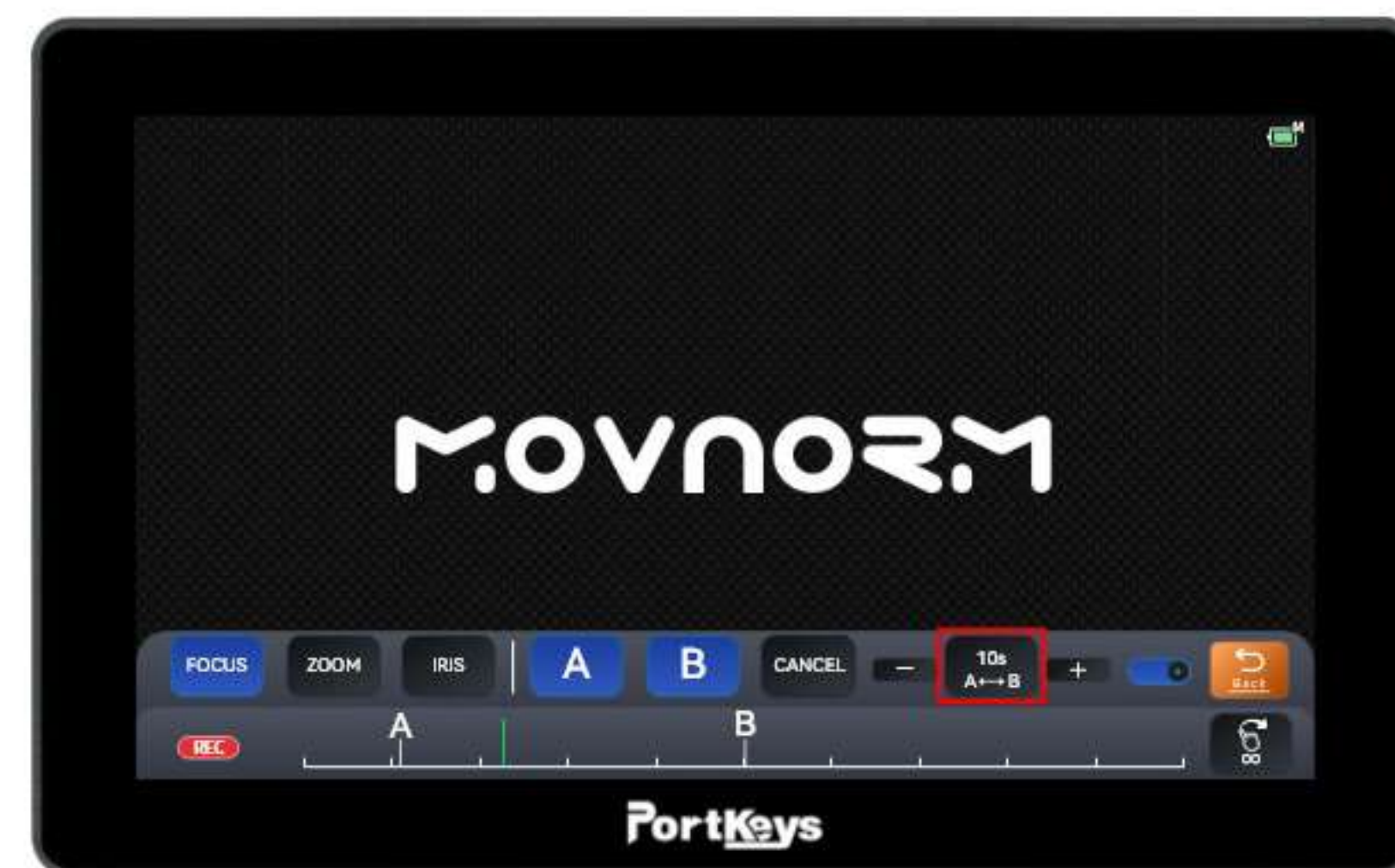
3

緑のスライダーをドラッグし、モーターを開始したい位置にポイントAを、停止したい位置にポイントBをクリックしてください。



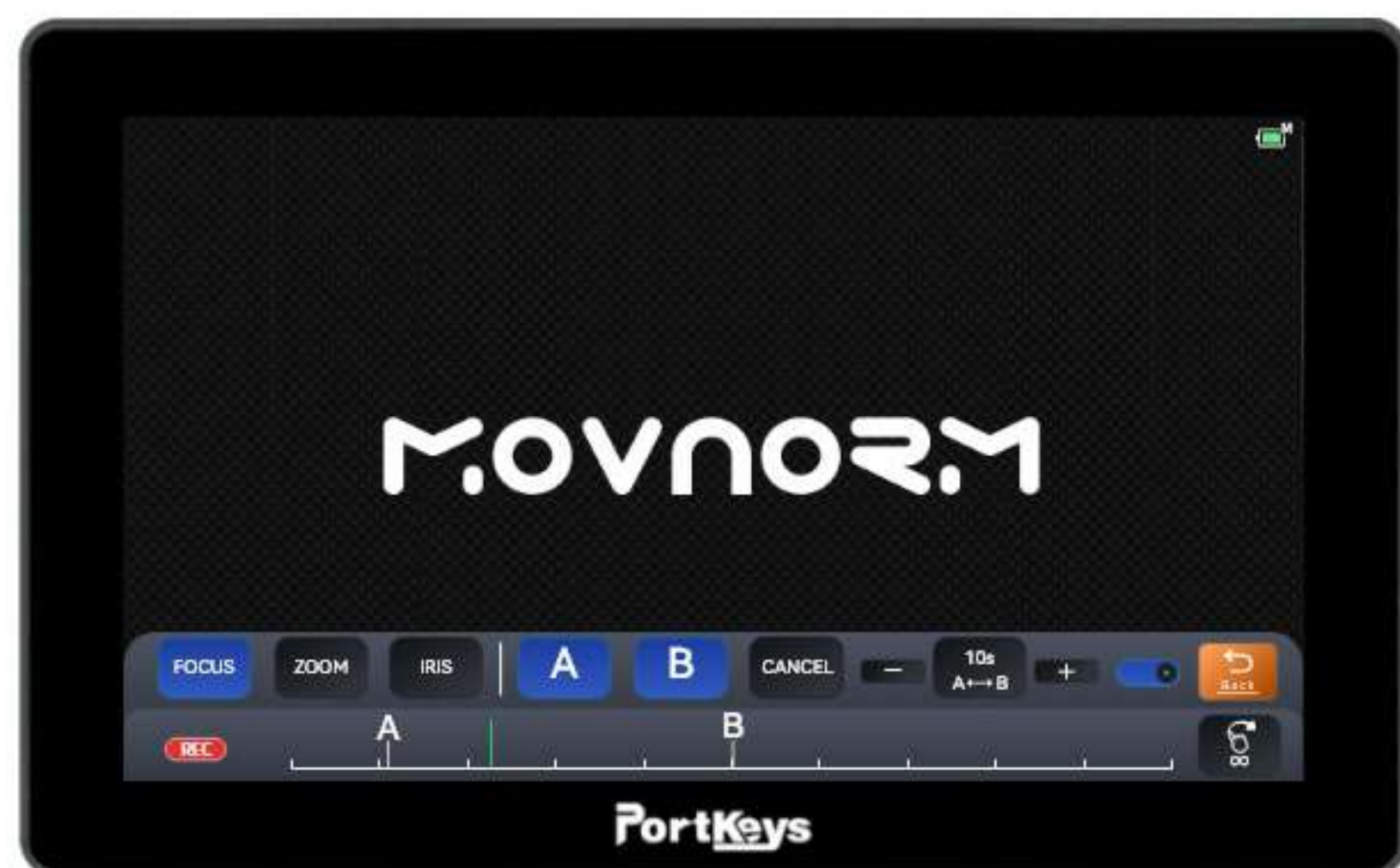
4

緑のスライダーをポイントAまでドラッグし、次に「-」と「+」ボタンを使ってポイントAからポイントBまでの時間を設定してください。



5

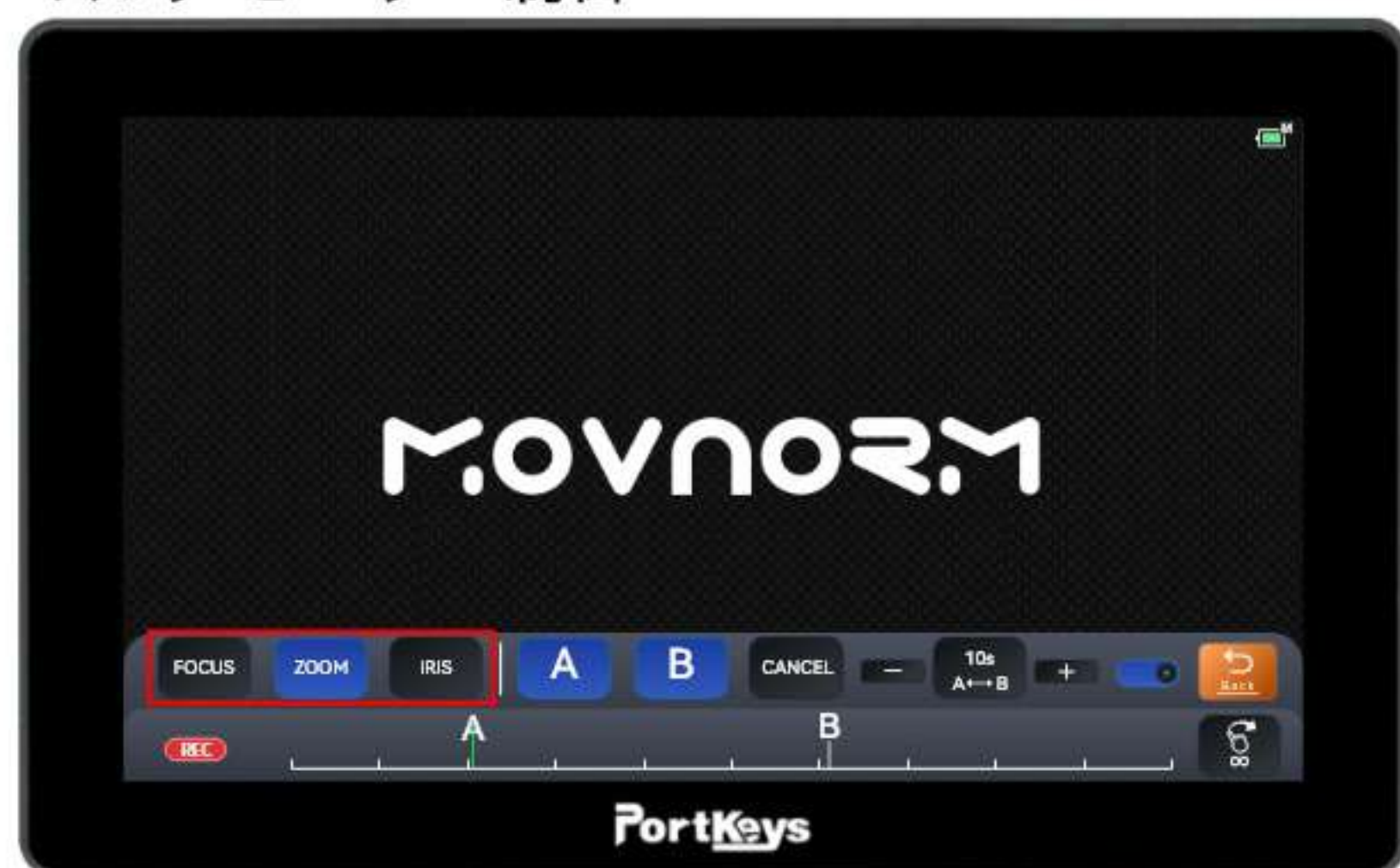
このボタンをクリックして、現在の設定をプレビューしてください。



6

録画開始後、モーターはギアを介して焦点距離を制御し、設定した時間内にポイントAからポイントBへ一定の速度で移動します。

マルチモーター制御



チェーン接続可能なモーターでは、FOCUS（フォーカス）、ZOOM（ズーム）、IRIS（アイリス）をそれぞれ設定でき、最大3台のモーターを同時に制御できます。

軸反転



カメラ紹介

モーターの紹介

6.1モーター



モーター概要

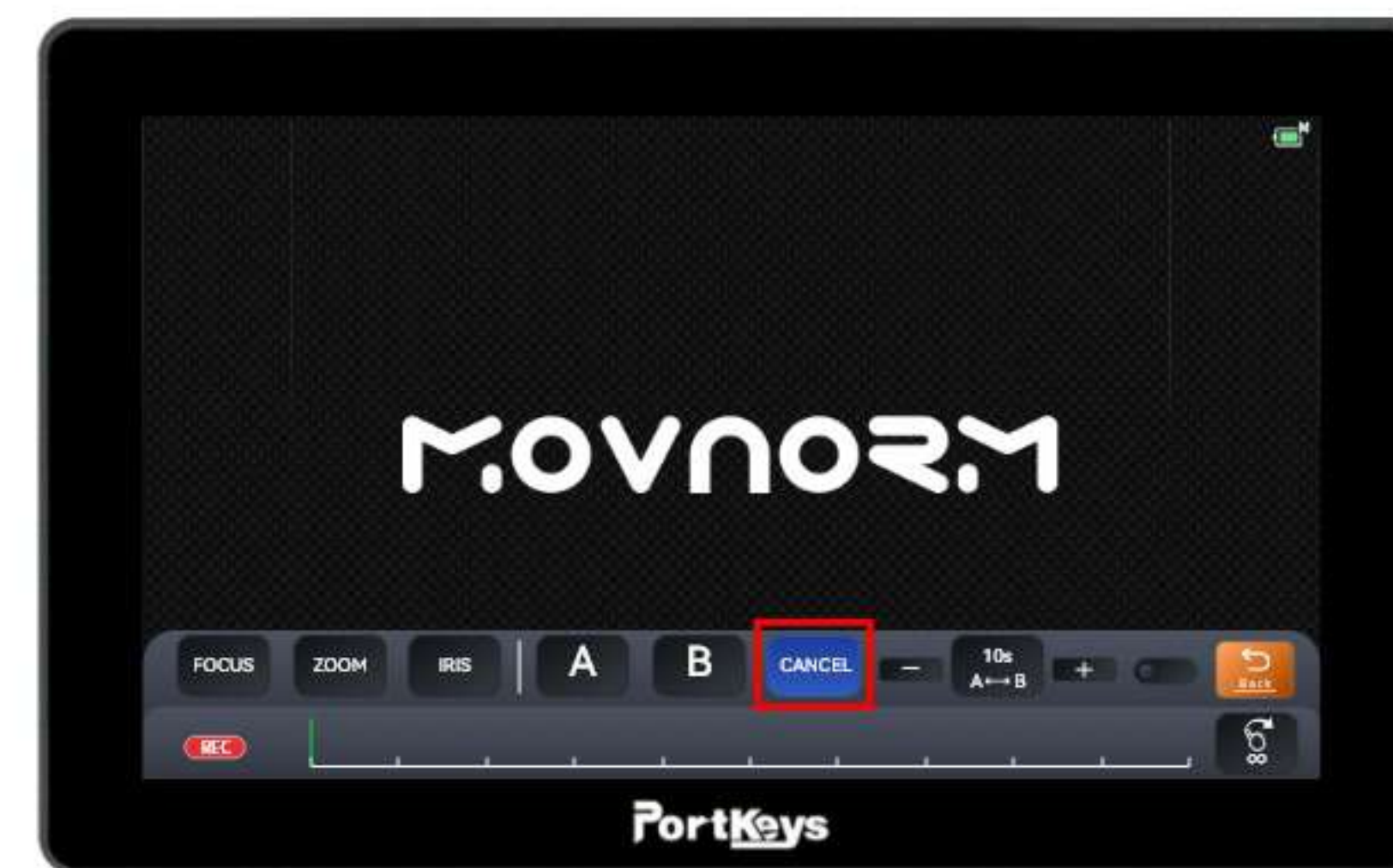
モーターを接続してカメラのオートフォーカスやレンズのズーム機能を制御することで、よりスムーズな撮影体験を提供します。特に動きのある撮影や、迅速な焦点距離の調整が必要な状況で役立ちます。

モーター接続

インターフェース経由でモーターを接続



セルフチェック機能



「キャンセル」をクリックすると、モーターギアがカメラのズームリングや絞りギアを駆動し、制御可能範囲を自動で測定します。

モーター設定



1

まず、設定したい部分を選択してください。

モーターの紹介

6.1モーター



モーター概要

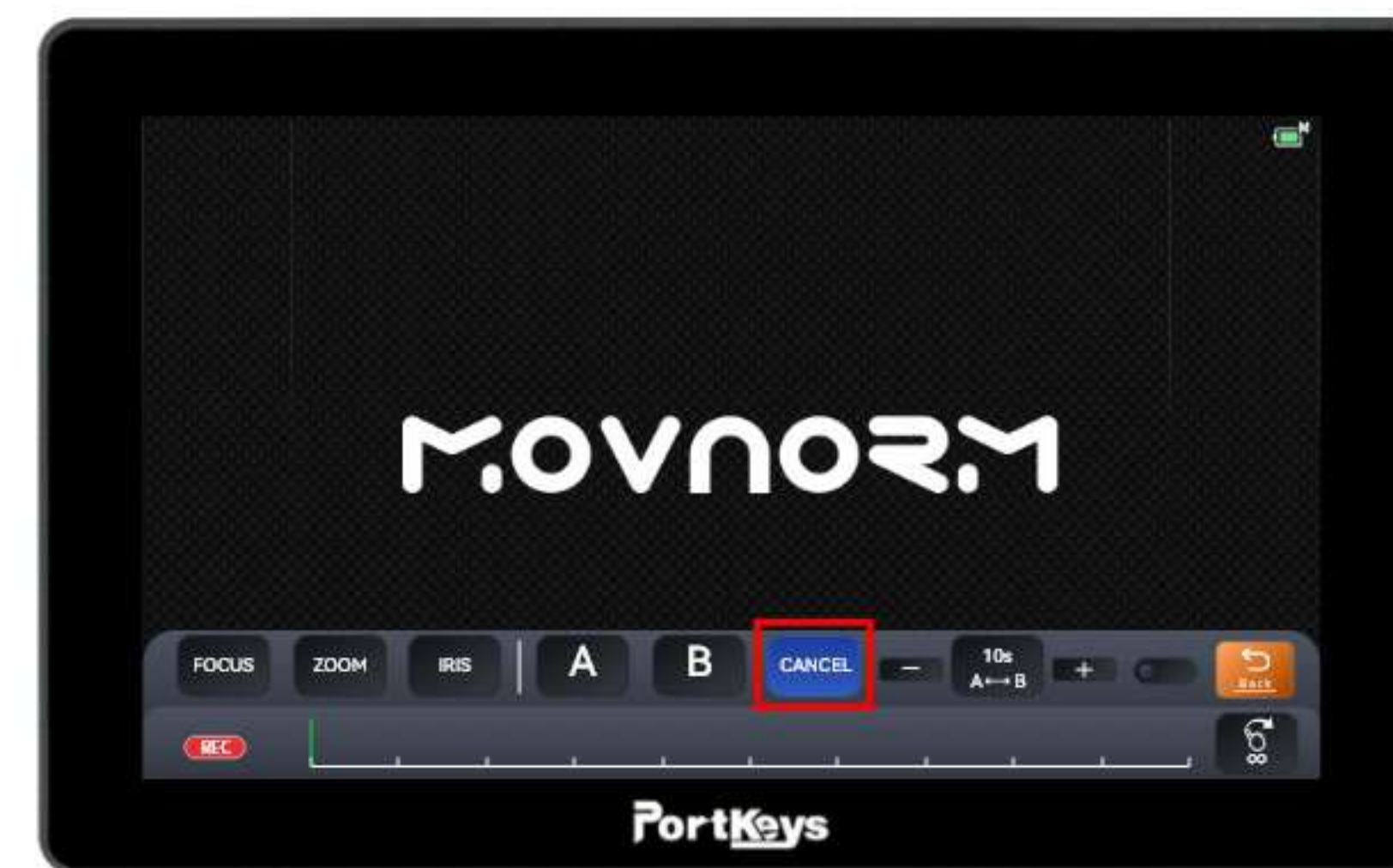
モーターを接続してカメラのオートフォーカスやレンズのズーム機能を制御することで、よりスムーズな撮影体験を提供します。特に動きのある撮影や、迅速な焦点距離の調整が必要な状況で役立ちます。

モーター接続

インターフェース経由でモーターを接続



セルフチェック機能



「キャンセル」をクリックすると、モーターギアがカメラのズームリングや絞りギアを駆動し、制御可能範囲を自動で測定します。

モーター設定



1

まず、設定したい部分を選択してください。

モーターの紹介

6.1モーター



モーター概要

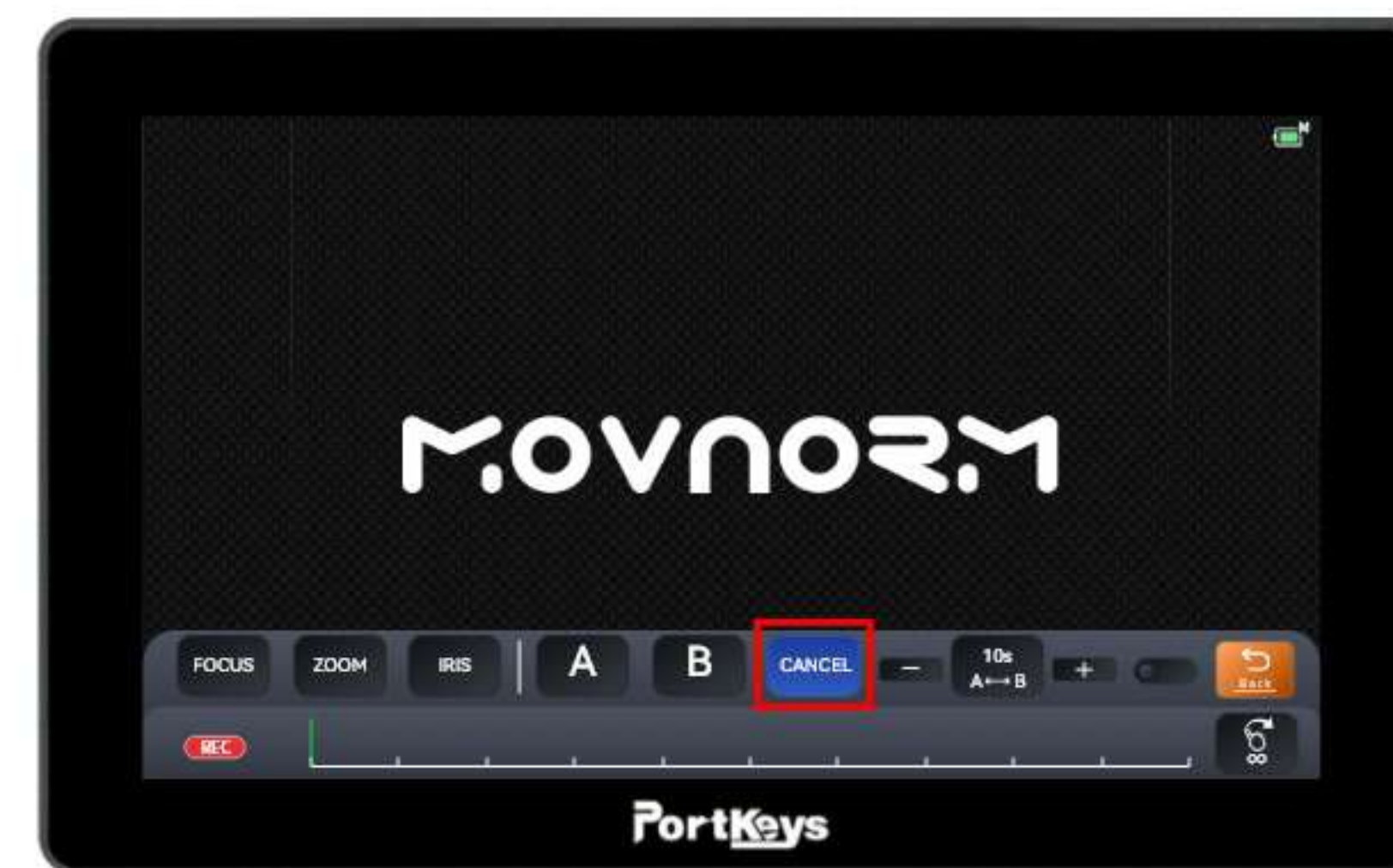
モーターを接続してカメラのオートフォーカスやレンズのズーム機能を制御することで、よりスムーズな撮影体験を提供します。特に動きのある撮影や、迅速な焦点距離の調整が必要な状況で役立ちます。

モーター接続

インターフェース経由でモーターを接続



セルフチェック機能



「キャンセル」をクリックすると、モーターギアがカメラのズームリングや絞りギアを駆動し、制御可能範囲を自動で測定します。

モーター設定



1

まず、設定したい部分を選択してください。

モーターの紹介

6.1モーター



モーター概要

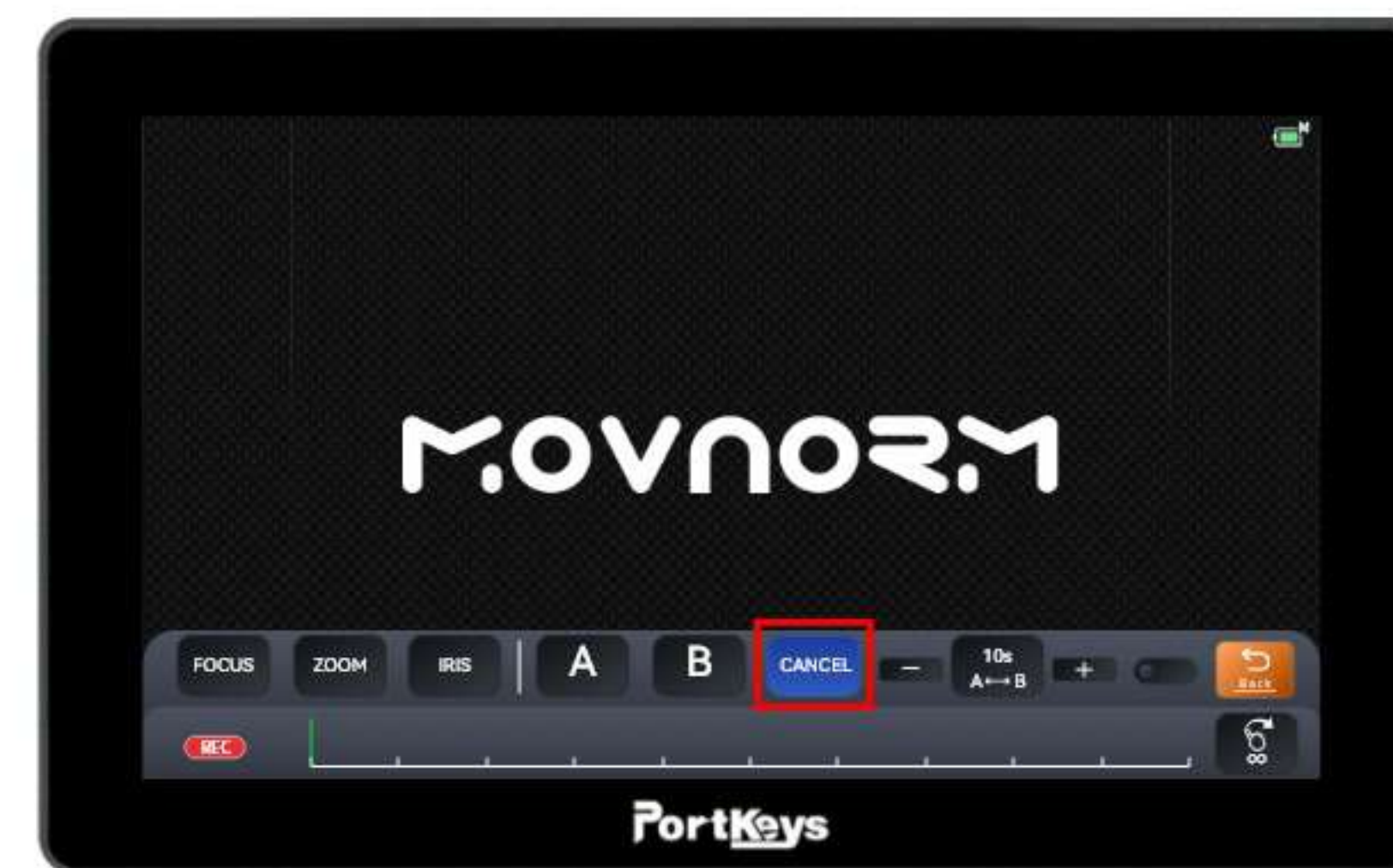
モーターを接続してカメラのオートフォーカスやレンズのズーム機能を制御することで、よりスムーズな撮影体験を提供します。特に動きのある撮影や、迅速な焦点距離の調整が必要な状況で役立ちます。

モーター接続

インターフェース経由でモーターを接続



セルフチェック機能



「キャンセル」をクリックすると、モーターギアがカメラのズームリングや絞りギアを駆動し、制御可能範囲を自動で測定します。

モーター設定



1

まず、設定したい部分を選択してください。